



# INTUOS®



Intuos (CTL-480, CTH-480, CTH-680)

[作業環境を整える](#)

[Intuos を使う](#)

[ペンを使う](#)

[ファンクションキーを使う](#)

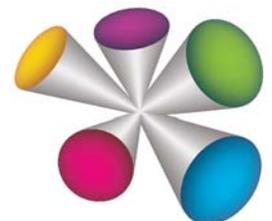
[Intuos のマルチタッチ機能を使う](#)

[Intuos をカスタマイズする](#)

[Intuos をワイヤレスで使う](#)

[トラブルシューティング](#)

[テクニカルサポート](#)





#### 製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

#### 電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

#### 商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

#### 著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

#### Intuos ユーザーズガイド

Version 1.1, Rev C1014

©2014 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。





## 目次

本書について	5	タブレット設定を管理する	38
Intuos について	6	複数のペンタブレットをインストールする	38
システム要件	6	Intuos をワイヤレスで使う	39
ペン	8	ワイヤレスキットの構成	39
ペンホルダー	8	ワイヤレスキットの取り付け	40
作業環境を整える	9	ワイヤレス通信の確立	41
ペンタブレットをコンピュータに接続する	9	ワイヤレス通信を最適化する	42
タブレットドライバをインストールする	10	ワイヤレスモジュールを取り外す	43
ペンタブレットの操作エリアについて	11	電池および電源管理	43
マルチディスプレイへのマッピング	12	電池の充電	43
コントロールパネルの使い方	12	電池およびワイヤレス通信の状態	44
Intuos を使う	13	省電力機能	45
ペンを使う	13	電池寿命について	46
ペンの持ち方	14	電池を交換する	47
ポインタの移動	15	ワイヤレスレシーバーの保管	48
クリック	15	ワイヤレス通信のテスト	48
消しゴム	15	トラブルシューティング	49
ドラッグ	15	ペンタブレットのテスト	50
筆圧を使って描画する	15	ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト	52
サイドスイッチを使う	16	ファンクションキーのテスト	53
ファンクションキーを使う	16	ペンのテスト	53
ファンクションキーの標準機能	17	トラブルシューティング情報	54
特定のソフトウェアによるファンクションキーの標準機能	17	一般の問題	54
Intuos のマルチタッチ機能を使う	18	ペンの問題	55
タッチによる操作	19	タッチの問題	58
タッチオプションを設定する	20	ワイヤレス通信の問題	59
エクスプレビューを使う	21	Windows の問題	60
Intuos をカスタマイズする	22	Mac の問題	61
コントロールパネル概要	23	テクニカルサポート	63
ペン先の感触とダブルクリックの調整	24	ドライバのダウンロード	64
ペンタブレットを画面にマッピングする	25	お手入れとメンテナンス	64
表示エリア	26		
タブレット操作エリア	27		
ボタン機能	28		
ラジアルメニューの使い方と設定	33		
マッピング画面切り替えを使う	34		
アプリケーションソフトウェアの設定をカスタマイズする	35		
特定のソフトウェアに対する設定を作成する	36		
特定のソフトウェアに対する設定を変更する	37		
特定のソフトウェアに対する設定を削除する	37		
オプション設定	37		





付録	65
芯を交換する	65
タブレットドライバのアンインストール	66
タブレットコントロールができる処理が 組み込まれたソフトウェアを使う	67
Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能	68
製品情報	69
オプション品の注文	69
用語	70
索引	72
お問い合わせ／修理依頼票	74



## 本書について

本書は、[Intuos](#) の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Mac コンピュータに共通するもので、特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



1つ前に表示したページに戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

- ご使用のディスプレイ上でユーザーズガイドのサイズを拡大するには、PDF ビューアのズームインツールを使用します。その他のツールの使用方法とユーザーズガイドの印刷については、ビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を表しています。
- ペンタブレットのタブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が同梱されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、仕様、およびソフトウェア使用許諾契約が含まれています。
- お客様のコンピュータのハードウェアないしオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。
- Microsoft Windows 8、Windows 7、および Windows Vista のインク機能のほか、多くのグラフィックソフトが筆圧機能および消しゴム機能に対応しています。これらの機能に対応するソフトウェアについては、ワコムホームページに記載されております。[\(製品情報](#)をご覧ください)

タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



## Intuos について

Intuos は、ペン入力に対応しています。CTH-480 および CTH-680 に付属のペンには、消しゴム機能が搭載されています。型番はペンタブレット裏面のラベルに表示されています。

Intuos では互換性のあるワコム製の入力デバイス（付属のペン、または Intuos に対応しているオプション品）以外は使用できません。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

タッチ機能に対応しているのは CTH-480 および CTH-680 です。[Intuos のマルチタッチ機能を使う](#)をご覧ください。

ペンタブレットの梱包を解いたときは、必ず以下の部品やアクセサリが揃っていることを確認してください。ペンタブレット裏面の中央カバー内に収納されているものもあります。なお、ワイヤレスキットはオプション品です。

- Intuos ペンタブレット本体
- ペン
- タブレットドライバ CD-ROM
- クイックスタートガイド（小冊子）
- 替え芯（3 本、ペンタブレット裏面の中央カバー内に取り付け）
- カラーペンリング
- USB 接続ケーブル
- ペンホルダー

以上の梱包品が揃っていることをお確かめください。

製品構成によっては、「アプリケーション DVD-ROM」「アプリケーションインストールガイド」「アプリケーションダウンロードガイド」等が同梱されています。

## システム要件

Intuos をご使用されるコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：Windows8、Windows7、Windows Vista の 32 ビットまたは 64 ビット版（最新の SP 適用）
- Mac の場合：Mac OS X 10.6 以降、Intel プロセッサを搭載した Mac
- USB ポート
- インターネット接続
- CD-ROM ドライブ（タブレットドライバを CD-ROM からインストールする場合）

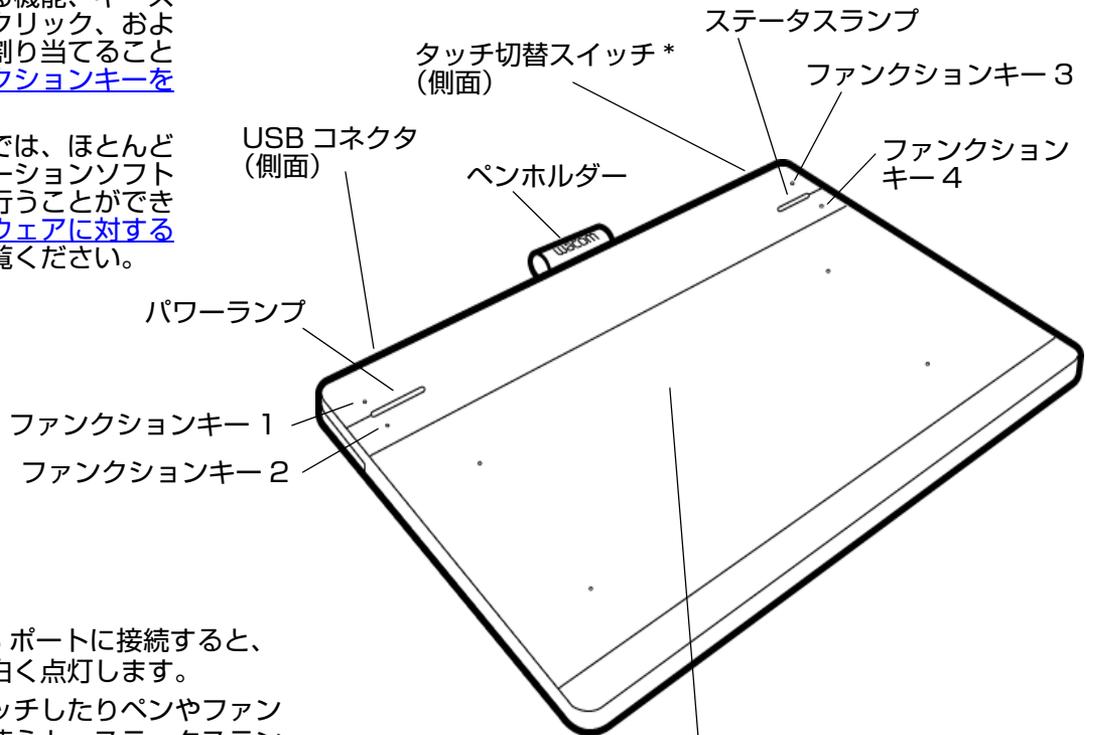
補足：Windows、Mac どちらをお使いの場合でも、ワコムのホームページからタブレットドライバをダウンロードしてインストールすることができます（[タブレットドライバをインストールする](#)をご覧ください）。



### ファンクションキー

本体上部左右 4 つのファンクションキーに、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、および修飾キーの機能を割り当てることができます。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

ファンクションキーでは、ほとんどの一般的なアプリケーションソフトウェアの個別設定を行うことができます。[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)をご覧ください。



### ランプ表示について

- 利用可能な USB ポートに接続すると、パワーランプが白く点灯します。
- 操作エリアにタッチしたりペンやファンクションキーを使うと、ステータスランプが青く点灯します。

ワイヤレス通信については、[Intuos をワイヤレスで使う](#)をご覧ください。

ペン入力およびタッチ入力の操作エリアです。4 箇所のドットで囲まれたエリアが操作エリアです。

\* タッチ機能は CTH-480、および CTH-680 で使うことができます。CTL-480 にはタッチ切替スイッチはありません。

## ペン

ペンタブレットのペンはすべてコードレス・電池レスです。  
 なお、CTL-480 に付属のペン (LP-180-0S) にはテールスイッチは搭載されていません。

### テールスイッチ

(消しゴム)

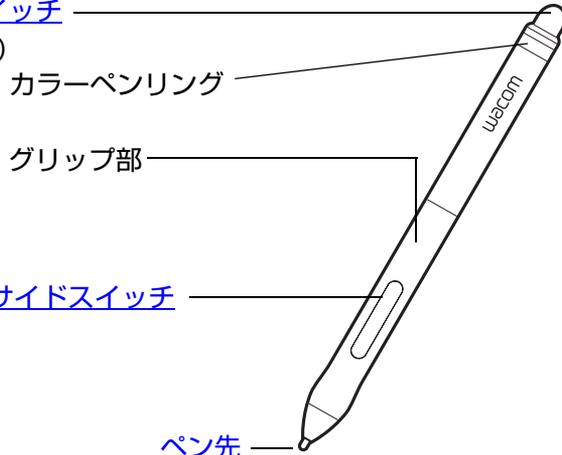
カラーペンリング

グリップ部

サイドスイッチ

ペン先

(交換可能)



### Intuos カラーペンリング

テール部分のカラーペンリングは交換が可能です。交換についてはクイックスタートガイドをご覧ください。

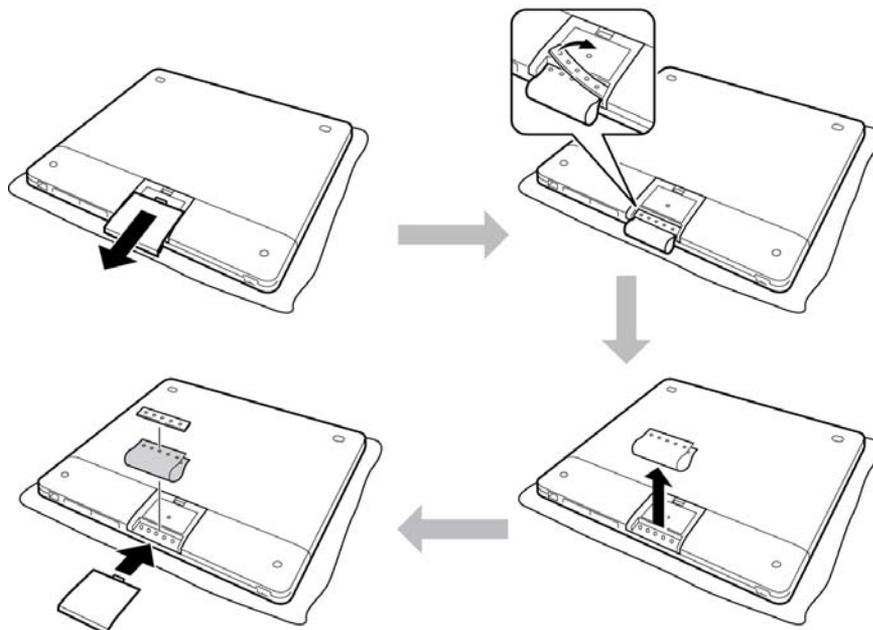
ペンの機能をサポートしているソフトウェアについては[製品情報](#)をご覧ください。その他の入力デバイスおよび付属品については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。

### ⚠ 警告

幼児がペンを噛んだり口に入れたりして、ペンを分解したり芯やサイドスイッチを飲み込むことがないように注意してください。芯やサイドスイッチは、小児が噛むと外れることがあります。

## ペンホルダー

ペンタブレットにはペンホルダーが付属しています。交換する場合は平らな柔らかい場所（机の上に広げた布など）の上に、裏返して置いてから、以下の図のように行ってください。



## 作業環境を整える

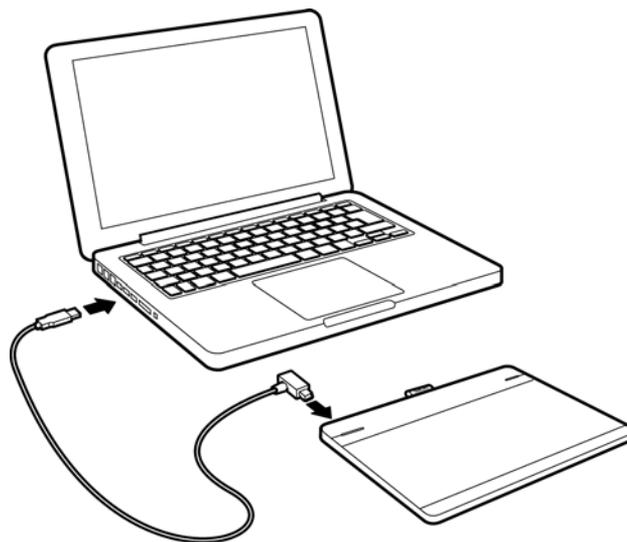
疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。ペンタブレット、ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。できるだけ目に負担をかけない位置にディスプレイを設置してください。画面のポインタがペンタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにペンタブレットを置いてください。

[タブレットドライバをインストールする](#)  
[ペンタブレットの操作エリアについて](#)  
[コントロールパネル概要](#)

## ペンタブレットをコンピュータに接続する

ペンタブレットとコンピュータの接続に使う USB 接続ケーブルが付属しています。

- 図のように USB 接続ケーブルをコンピュータとペンタブレットに接続します。接続すると左側のパワーランプが白く点灯、または点滅（タブレットドライバをインストールしていない状態）します。
- ペンでペンタブレットの操作エリアにタッチすると右側のステータスランプが青く点灯します。
- 指で操作エリアにタッチすると右側のステータスランプが青く点灯します。点灯しない場合は、ペンタブレット側面のタッチ切替スイッチを反対側に切り替え、もう一度操作エリアにタッチすると、ステータスランプが点灯します。





## タブレットドライバをインストールする

Windows 8、Windows 7 のオペレーティングシステムでは、最初にペンタブレットをインターネットに接続されているコンピュータに、USB ケーブルで接続を行うとタブレットドライバが自動でインストールされます。電源ランプの点灯で接続を確認することができます。

タブレットドライバはタブレットドライバ CD-ROM、またはワコムホームページのユーザサポートページからダウンロードすることができます。

Windows Vista または Mac をお使いの場合は、タブレットドライバ CD-ROM またはワコムホームページからインストールしてください。

補足：ペンタブレットを使う前に、必ずタブレットドライバをインストールしてください。

タブレットドライバのインストール方法：

1. コンピュータでの作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。
2. タブレットドライバをインストールします。
  - Windows 8、Windows 7 の場合は、ペンタブレットとコンピュータを接続したときに自動で表示されるタブレットドライバインストールオプションを選択します。選択したタブレットドライバがワコムのホームページからダウンロードされてインストールされます。  
タブレットドライバはタブレットドライバ CD-ROM、またはワコムホームページのユーザサポートページからダウンロードすることができます。
  - Windows Vista または Mac の場合は、コンピュータの CD-ROM ドライブにタブレットドライバ CD-ROM を挿入します。インストール画面が表示されない場合は、タブレットドライバ CD-ROM のフォルダに表示される「インストール」または「スタートアップ」アイコンをダブルクリックします。ワコムホームページのユーザサポートのページからも手動でタブレットドライバをダウンロードすることができます。
3. 画面に表示される指示に従い、タブレットドライバをインストールします。
4. タブレットドライバのインストール完了後、ペンタブレットの表面上でペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

ペン先をペンタブレットの表面上に置くと、ポインタは直ちにペン先に合わせて移動します。ペン先を持ち上げ、ペンタブレットの表面上の異なる位置に移動すると、ポインタは再び新しい位置に移動します。

補足：更新情報については、タブレットドライバのダウンロードページからご確認ください。タブレットドライバ CD-ROM に同梱されている「製品に関する重要なお知らせ」の注意や警告をよくお読みください。タブレットドライバのインストールが正常に終了しない場合は、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ユーザはログオンした後、コントロールパネルで自分の個人設定をカスタマイズすることができます。ユーザが切り替わると、自動的に新しいユーザの個人設定を読み込みます。

ポインタをコントロールできない場合は、ペンタブレットの環境設定に異常が生じた可能性があります。現在の環境設定を削除して、ペンタブレットをお買い上げ時の設定状態に戻すことができます。環境設定管理の詳細については、[タブレット設定を管理する](#)をご覧ください。

タブレットドライバをインストールすると自動的にペン入力に対応した機能が利用できるようになります。

ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードするには[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

タブレットドライバをアンインストールするには[タブレットドライバのアンインストール](#)をご覧ください。

タブレットドライバが正常にインストールできない場合は、お使いのコンピュータのウィルス対策プログラムをご確認の上、一時的に無効にした状態でお試してください。



## ペンタブレットの操作エリアについて

ペンタブレットの操作エリアとは、ペン入力やタッチ入力を検出するペンタブレット上の領域を指します。

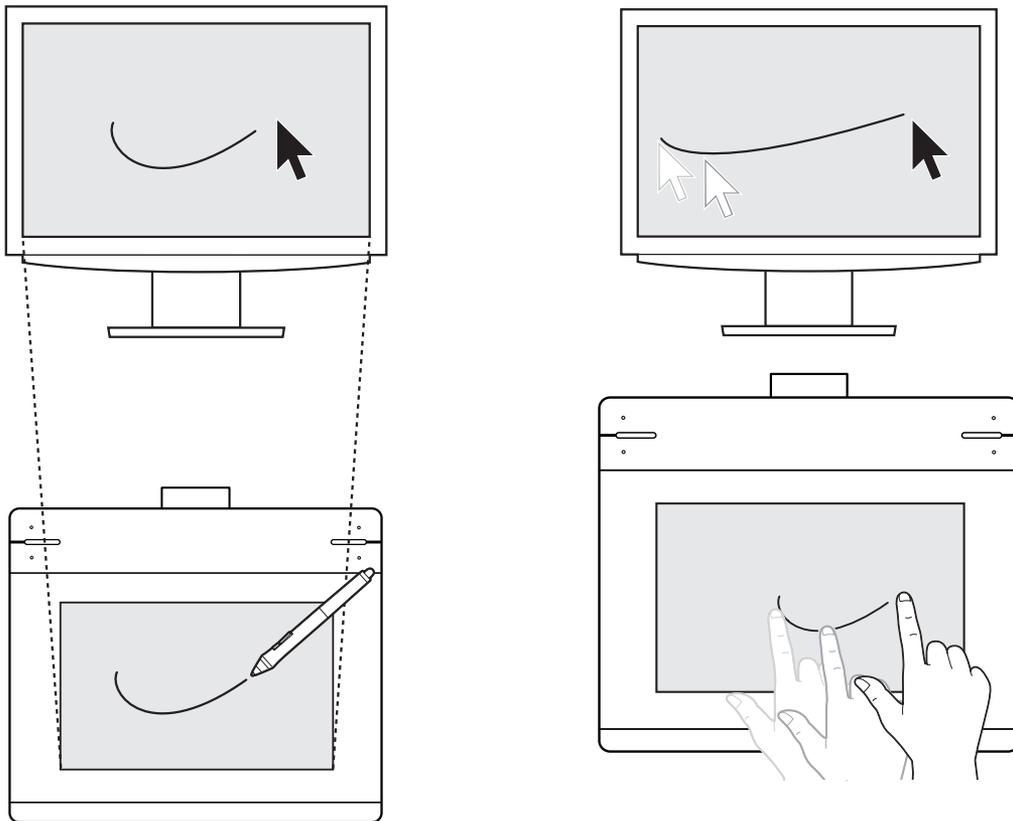
ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）が操作エリア内（検出範囲内）にある場合、タッチ入力は無効になります。ペンタブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力が有効になります。

ペンタブレットの操作エリアにペンを置くと、ポインタは画面の対応する場所にジャンプします。画面のポインタはペンの位置を示し、タブレット操作エリアのペンの動作に従います。

[ペンを使う](#)をご覧ください。

補足：操作エリアはコンピュータ画面の表示域に割り当てられます。標準設定では、画面全体、またはディスプレイが複数ある場合はすべてのディスプレイに割り当てられています。ペン入力時のタブレット操作エリアとディスプレイ画面のマッピングを設定するには、[ペンタブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。

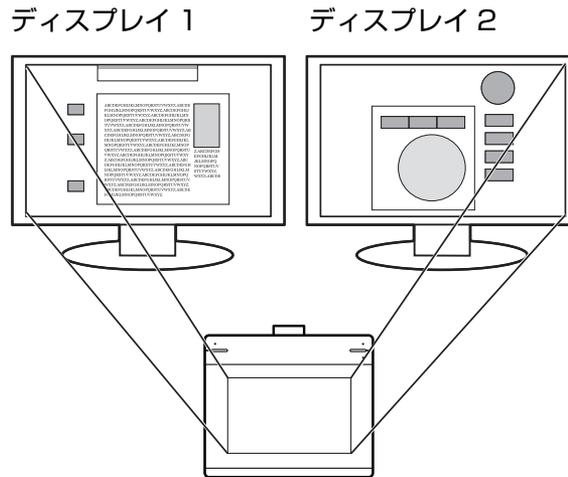
[Intuos のタッチ機能を使う](#)をご覧ください。ワコムホームページに掲載されている Windows、Mac 共通のワコムジェスチャーガイドもご覧ください。



## マルチディスプレイへのマッピング

お使いのコンピュータに複数のディスプレイが接続されている場合「画面のプロパティ」ダイアログで設定されている内容に基づいて、Intuos はディスプレイとマッピングされます。

- 複数のディスプレイが使われている環境で拡張ディスプレイモードをお使いの場合、ペンタブレットは複数のディスプレイを 1 つの大きなディスプレイとしてディスプレイ全体にマッピングします。



この例では、ペンタブレットの操作エリアがディスプレイ全体に対してマッピングされている状態をあらわしています。画面は 2 つのディスプレイに表示されています。

- ミラーモードをお使いの場合、ペンタブレットの操作エリアは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられ、ポインタも各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定の詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

- ヒント：
- 1 つのディスプレイや、ディスプレイ領域の一部分に割り当てるように、ペンタブレットをカスタマイズすることもできます。[ペンタブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。
  - システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てることにより、メインのディスプレイと他のディスプレイ間で、ペンタブレットのマッピングを切り替えることができます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

## コントロールパネルの使い方

コントロールパネル（ワコムタブレットのプロパティ）では、Intuos でのペン入力やタッチ入力の設定のカスタマイズが行えます。

### [コントロールパネル概要](#)



## Intuos を使う

初めて Intuos をお使いになるときは、この章をお読みください。また、[Intuos のマルチタッチ機能を使う](#)もご覧ください。

**重要：**Intuos では互換性のあるワコム製の入力デバイス（付属のペン、または対応しているオプション品）以外は使用できません。それ以外の入力デバイスは正しく動作しない可能性があります。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

## ペンをを使う

ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの4つです。ペンを使うことに慣れていない場合は、下記のページからの練習を行ってください。[ペンタブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。

補足：ペン先またはテールスイッチが操作エリア内（検出範囲内）にある場合、タッチ機能は自動的にオフになります。ペンをペンタブレットの操作エリアから離すと、タッチ入力が有効になります。

タッチ機能は、ペンタブレット側面のタッチ切替スイッチを使ってオフにすることもできます。

[ペンの持ち方](#)

[ポインタの移動](#)

[クリック](#)

[ドラッグ](#)

[サイドスイッチを使う](#)

[消しゴム](#)

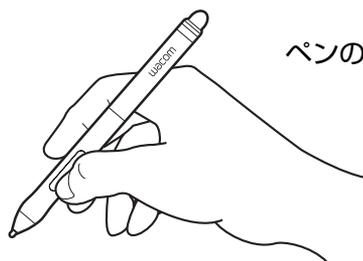
[筆圧を使って描画する](#)

[ファンクションキーを使う](#)



## ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。ペンを握る位置を調節し、サイドスイッチを親指または人差し指で簡単に切り替えることができるようにしてください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすいようにペンを傾けてご使用ください。



ペンの使い方



消しゴムの使い方

- 重要：**
- ペンを使用しないときは、ペンホルダーに入れるか、または机の上に横にして置いてください。ペンの感度を維持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）が押されてしまうような入れ物には収納しないでください。故障の原因となります。
  - Intuos の入力デバイスをペンタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際に画面のポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合があります。

## ポインタの移動

操作エリアにペンを近づけるとポインタがペン先に合わせて移動します。ペンタブレットの表面に触れずにペン先を移動させると、ポインタも対応して移動します。

## クリック

ペン先でペンタブレットの表面を 1 回軽くたたか、ペンタブレットにペン先を強めに押し付けます。ダブルクリックする場合は、上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でペンタブレットの表面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。

## 消しゴム

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、ペンのテールスイッチ（消しゴム）を消しゴムのように使用することができます。

消しゴム機能に対応するソフトウェアについては、ワコムのホームページ (<http://wacom.com>)、および本書の[製品情報](#)をご覧ください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）に使うことができます。

## ドラッグ

ペン先をペンタブレットの表面に押し当てたまま移動させます。クリックで選択したオブジェクトを移動したり、クリックした位置からの範囲を選択することができます。

## 筆圧を使って描画する

ペンタブレットに対応するすべてのペンは筆圧を感知します。ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンやブラシのストロークを描きます。筆圧対応のソフトウェアは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧を使用して、線を引いたり、色を塗ったり、文字を書いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先でなぞるようにして操作エリアでペンを移動します。線を太く、または色を濃くするには、強く押します。線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧対応ツールを選択する必要があります。

ペン先の書き味を調整するには[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページをご覧ください（[製品情報](#)をご覧ください）。



## サイドスイッチを使う

ペンにはカスタマイズできるサイドスイッチが2つ装備されています。ペン先がペンタブレットの操作エリアから読み取り可能高さにある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がペンタブレットにタッチしていなくても、サイドスイッチは使用できます。

サイドスイッチの標準設定

上側：「右ボタンクリック」

下側：「スクロール/移動」

右ボタンクリック：特定のソフトウェア、または特定のアイコンのメニューを表示させるには、右ボタンクリックを使います。

ダブルクリック：サイドスイッチの1つに「ダブルクリック」を割り当てます。ペン先で2度ペンタブレットの面をたたく方法よりも簡単に、ダブルクリック操作を行うことができます。

操作エリア内で書類または画像を任意の方向に移動させるには、サイドスイッチの1つに「スクロール/移動」を割り当てます。次にサイドスイッチを押しながら、ペン先を操作面上で動かします。ウィンドウ内の書類または画像が任意の方向に移動します。ペンタブレット上でのペンの動きに合わせて、ウィンドウ内の書類あるいは画像が移動します。ペンのサイドスイッチを放すか、またはペンタブレットからペン先を離すと、「スクロール/移動」は終了します。

ソフトウェアによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタと同じ方向に書類や画像が移動するだけの場合があります。

## ファンクションキーを使う

以下のようにファンクションキーを使うことができます。

- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- よく使うファイルあるいはソフトウェアを起動するようにキーを設定します。
- お使いのペンのサイドスイッチを利用しない場合には、ファンクションキーのどれかに右ボタンクリックまたはダブルクリックをセットしてください。
- その他の割り当てられる機能から選択し、キーを設定します。

**重要：**ソフトウェアによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルからファンクションキーの機能をカスタマイズします。[コントロールパネル概要](#)をご覧ください。





## ファンクションキーの標準機能

ファンクションキーを押すと、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。ファンクションキーは、作業を進めながらタッチ、ペン、またはその他の入力デバイスのプロパティを変更するためにも使うことができます。

ファンクションキーの標準設定は以下の通りです。

Windows 8、Windows 7、および Windows Vista 使用時の標準機能：

- ファンクションキー 1: Shift キー
- ファンクションキー 2: Alt キー
- ファンクションキー 3: Control キー
- ファンクションキー 4: Windows キー

Mac 使用時の標準機能：

- ファンクションキー 1: Shift キー
- ファンクションキー 2: Option キー
- ファンクションキー 3: Command キー
- ファンクションキー 4: Control キー

## 特定のソフトウェアによるファンクションキーの標準機能

Photoshop、Illustrator、Corel Painter など一般的なソフトウェアで作業をするときは、ペンタブレットのタブレットドライバがソフトウェアを検出し、ファンクションキーの標準機能をそのソフトウェアでよく使われている機能に自動的に設定します。

ファンクションキーの現在の設定を確認するときは、任意のファンクションキーを押し、画面にエクスプレビューを表示させます。アイコンにタッチすると、そのファンクションキーはハイライトされます。[エクスプレビューを使う](#)をご覧ください。

補足：2つのファンクションキーを組み合わせて操作することができます。たとえば、1つのボタンに「Ctrl」を、別のボタンに「Alt」を設定します。両方のボタンを押すと、「Ctrl」+「Alt」が実行されます。





## Intuos のマルチタッチ機能を使う

Intuos は、作業をより効率よく行えるように設計されています。タッチ機能により、ペンタブレット上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

タッチ機能は CTH-480、および CTH-680 で使うことができます。

ペンタブレットでは、ノートパソコンなどの Mac デバイスまたは Windows デバイスと同様に、タッチ機能を使うことができます。オペレーティングシステム（Windows または Mac）によって、一部のタッチジェスチャーは異なります。

タッチ機能をオン／オフするときは、ペンタブレット側面のタッチ切替スイッチをスライドさせます ([Intuos について](#) をご覧ください)。

Windows および Mac でのジェスチャーについては、ワコムホームページのワコムジェスチャーガイドをご覧ください。

ペンタブレットの操作エリアを指で触れると、タッチ入力が可能になります。

- タッチ入力をするときは、指を操作しやすい間隔に開いてください。指同士をぴったりとくっつけてペンタブレットに置くと、1本の指を使った操作と判断されたり、操作やジェスチャーがどの指で操作されたのかを識別しにくくなることもあります。
- もっとも操作しやすい方法でタッチ入力を行ってみてください。ジェスチャー中は不用意なタッチを避けるように注意してください。たとえばズームまたはスクロール中に、操作エリアに小指や手のひらが触れた場合に、不要な右クリックが実行されたりすることがあります。

補足：ペン入力とタッチ入力の両方が操作可能なペンタブレットについて、ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がペンタブレットの検出範囲内にある場合、タッチを行うことはできません。ペンタブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力が可能になります。

### [タッチによる操作](#)



## タッチによる操作

Intuos では、タッチ機能により、ペンタブレットの操作エリア上で指を動かすだけでコンピュータを操作することができます。[ペンタブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。

タッチ機能は、ペンタブレット側面のタッチ切替スイッチでオン / オフします。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行します。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行します。ジェスチャーによっては、ペンタブレットにジェスチャーが認識されたことを知らせる視覚表示が、表示画面に表れます。

右クリックなど一部の機能は別の操作やジェスチャーでも実行することができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

オプションを選ばなければ、自動的に一番上のオプションから順に画像が表示されます。

この機能は、ファンクションキーに割り当てて変更することもできます。

[タッチによる操作](#)および[エクスプレビューを使う](#)もご覧ください。



[エクスプレビューを使う](#)  
[タッチによる操作](#)

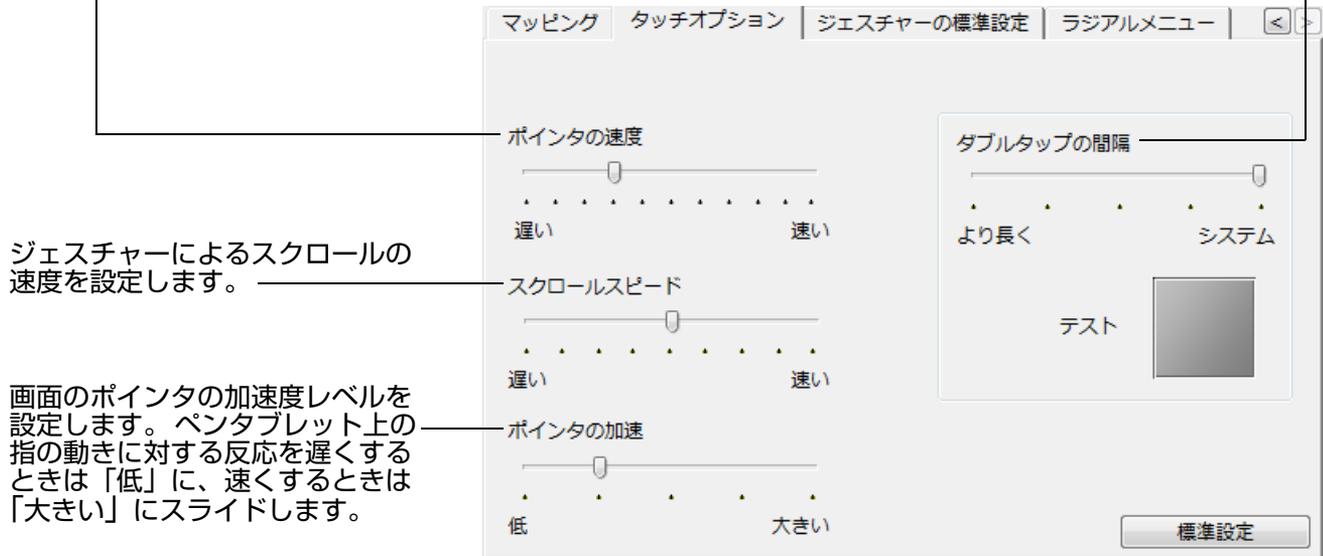
## タッチオプションを設定する

「タッチオプション」タブを選んで設定します。

ここでは、タッチ操作やジェスチャー操作を感知するための速度を設定します。

トラッキングおよびナビゲーション用に、ポインタの速度を調節します。ポインタをゆっくり動かしたい場合は、「遅い」にスライドします。ポインタを素早く動かしたい場合は、「速い」にスライドします。

ダブルクリックを認識させるための速さを調節します。設定をテストするには、「テスト」エリアにポインタを置き、2回タップします。



ジェスチャーによるスクロールの速度を設定します。

画面のポインタの加速度レベルを設定します。ペンタタブレット上の指の動きに対する反応を遅くするときは「低」に、速くするときは「大きい」にスライドします。

補足：タッチ速度と加速度の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。これらの設定を変更しても、通常のマウスの設定に影響はありません。ただし、通常のマウスの設定を変更すると、ペンタタブレットの設定に影響することがあります。

## エクスプレスビューを使う

エクスプレスビューを使うと、ファンクションキーの設定をメインディスプレイで確認することができます。

- 任意のファンクションキーを押すと、画面にエクスプレスビューが表示されます。押されているキーがハイライト表示されます。
- 無効になっているファンクションキーは、無効と表示されるか、そのキー自体が表示されないこともあります。
- このビューは、約 2 秒で画面から消えます。
- エクスプレスビューの表示を無効にするには、コントロールパネルを開いて「タブレット」タブを選択し、「エクスプレスビューを表示」ボックスのチェックを外します。



## Intuos をカスタマイズする

Intuos のコントロールパネルを使って、使いやすいように Intuos をカスタマイズできます。

### [コントロールパネル概要](#)

### [ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)

### [ペンタブレットを画面にマッピングする](#)

### [ボタン機能](#)

### [ラジアルメニューの使い方と設定](#)

### [マッピング画面切り替えを使う](#)

### [アプリケーションソフトウェアの設定をカスタマイズする](#)

### [オプション設定](#)

コントロールパネルを開きます。

- Windows 8 の場合 : Windows 8 のスタート画面から「ワコム タブレットのプロパティ」タイルを選択するか、画面の右端からチャームを表示して、「検索」を選択し、検索ボックスに「タブレットのプロパティ」を入力して、アプリで表示される「ワコム タブレットのプロパティ」をクリックします。
- Windows 7 および Windows Vista の場合 : Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- Mac の場合 : アップルメニューから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルでは、お使いの機種 of 最新モデル、および設定に当てはまるタブとオプションのみ表示されます。[コントロールパネル概要](#)をご覧ください。

補足 : タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

## コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、使いやすいようにペンタブレットやツールをカスタマイズできます。該当するタブを表示すると、「アプリケーション」リストに使用できるソフトウェアが表示されます。コントロールパネルを使って以下のような操作ができます。

- よく使うキーボードのショートカット、またはよく使うファイルあるいはソフトウェアを起動する機能をキーに設定します。
- ペンのサイドスイッチまたはファンクションキーを無効にします。
- その他の割り当てられる機能をj選択してキーに設定します。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

**重要：**ソフトウェアによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

カスタマイズする場合は、該当するタブの項目を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。変更した設定内容はすぐに反映されます。

各キーを押した場合に実行される機能をファンクションキーから選択します。

ファンクションキーは、特定のソフトウェアごとに設定することができます。

さらに知りたいときは、[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

ペンタブレットの情報、および「診断」ダイアログボックスにアクセスするオプションを表示します。

設定が作成されているソフトウェアが表示されます。

表示されていないタブを表示します。

「標準設定」は選択されたタブを標準設定の状態に戻します。

「？」はユーザーズガイド(本書)をダウンロード、または表示させます。

[オプション設定](#)をご覧ください。

ほとんどのコントロールパネルの項目の上にヒントが表示されます。項目の上にポインタを置いて静止させると、すぐにヒントがポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。

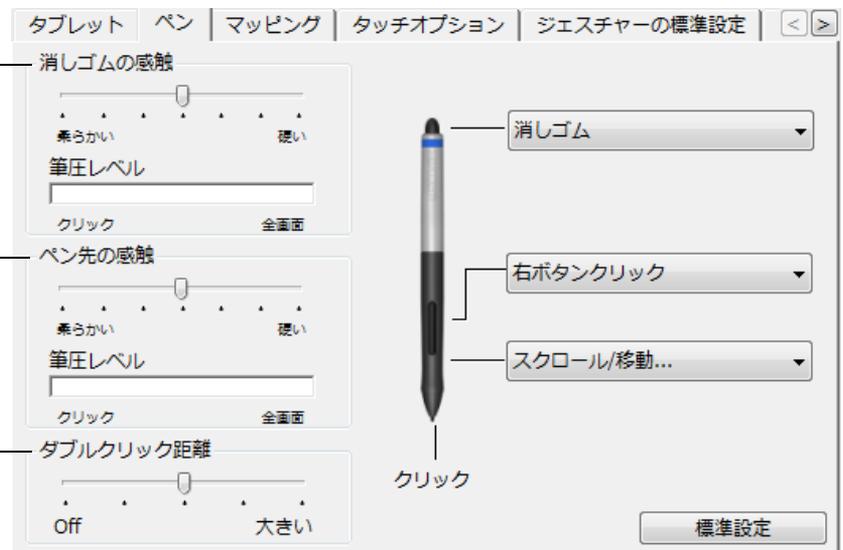
## ペン先の感触とダブルクリックの調整

ペン芯、消しゴムの感触や感度を調整するときは、「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたり色を塗ったり消したりする際に必要な「ペン先の感触」と「消しゴムの感触」をカスタマイズします。テールスイッチでペンタブレット上の空き領域を押して「消しゴムの感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。

太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、より「硬い」に設定します。

ダブルクリックと認識するクリック間の距離をスライダで調整します。



消しゴム、サイドスイッチの機能を設定するときは、ペンの横のドロップダウンメニューを開いてオプションを選択します。ペンタブレットに触れずにペン先をペンタブレット表面から 10 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ペン先の「クリック」をダブルクリックすると、ペン先に設定されている機能を変更することができます。なお、グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

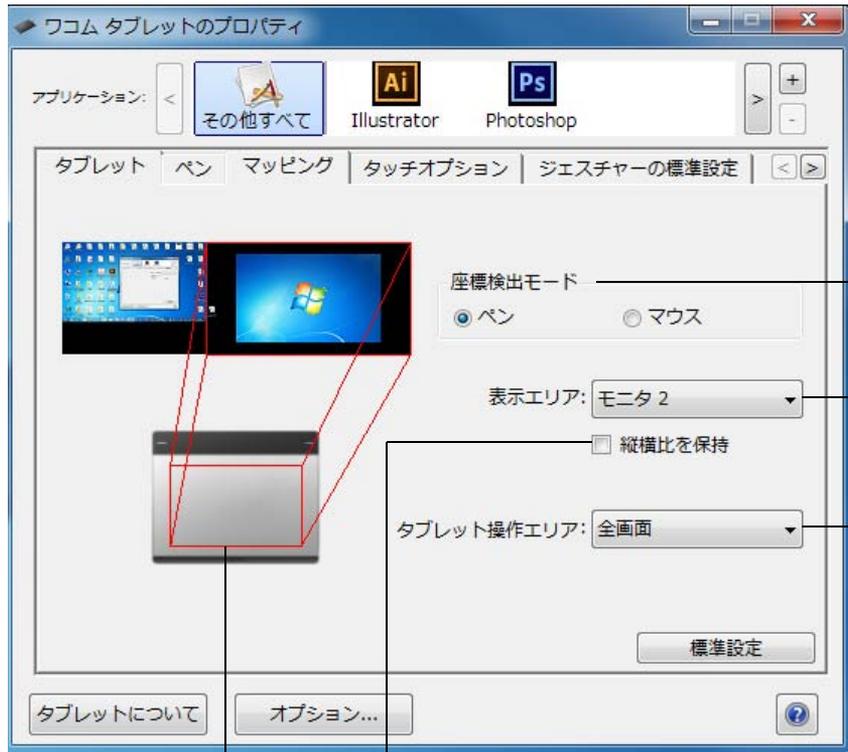
右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。[サイドスイッチを使う](#)をご覧ください。

- ヒント：
- 「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
  - ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。
  - ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリック距離を大きくします。
  - グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定する、またはサイドスイッチまたはファンクションキーを使用してダブルクリックをする設定もできます。

## ペンタブレットを画面にマッピングする

「マッピング」タブを選択して、タブレット操作エリアでの入力デバイスの動作とディスプレイ画面でのポインタの動作の関係を設定します。

標準設定では、ペンタブレットの操作エリア全体がディスプレイ全体にマッピングされます。複数のディスプレイを使用中の場合、ペンタブレットはすべてのディスプレイにマッピングされます。



選択する「座標検出モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。

- 「ペンモード」では、ポインタの動作がペンタブレット上のペン先的位置に対応するように設定されます。これによって、ペンタブレット上にペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントまでジャンプします。これは絶対座標で、ペンの標準設定です。
- 「マウスモード」では、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

表示エリア：[表示エリア](#)をご覧ください。

タブレット操作エリア：[タブレット操作エリア](#)をご覧ください。

画像はすぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したペンタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。ペンタブレットで円を描いてもディスプレイ画面では楕円になることがあります。全ての入力デバイスについての標準設定です。

「縦横比を保持」にチェックを入れると、正確な縦横比が保持されます。ペンタブレットで円を描くとディスプレイ画面でも円が描かれます。設定によりませんが、このオプションが選択されている場合、ペンタブレットの操作エリアで利用できない領域があります。



## 表示エリア

お使いのペンタブレットがディスプレイ画面のどの部分にマッピングされるかを定義するには、コントロールパネルの「マッピング」タブから「表示エリア」オプションを選択します。

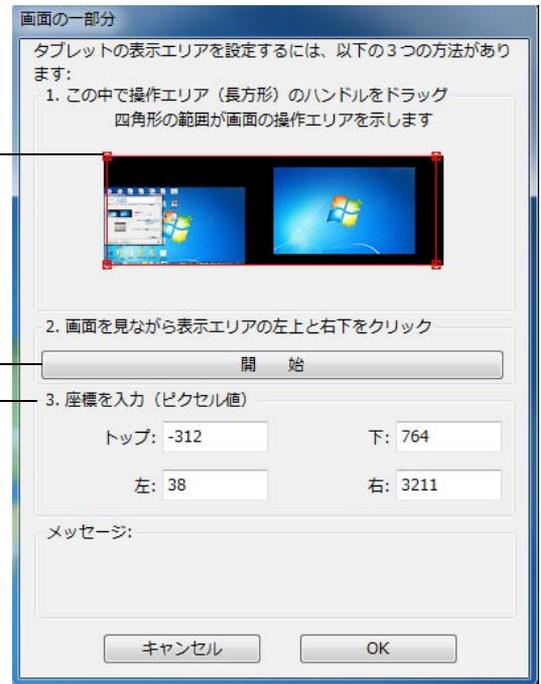
**最大** 複数のディスプレイ全体を 1 つの大きな画面とします。標準設定です。  
**一部領域 ...** 表示されるダイアログボックスから、表示画面の一部を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。

- 「開始」ボタンを選択し、画面のポイントを動かして表示エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。

- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力する方法です。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

画面の一部を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、違う入力デバイスを使用してください。



**モニタ (数字)**

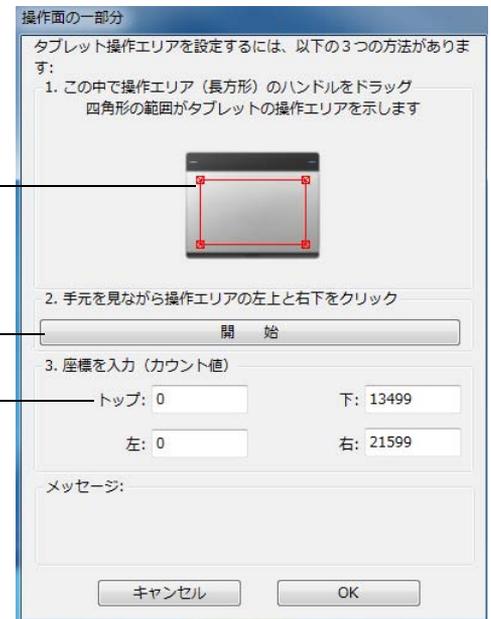
1 つ選んだディスプレイの領域全体に割り当てられます。複数のディスプレイがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのディスプレイにオプションを適用できます (たとえば、2 つのモニタが接続されている場合、モニタ 1、モニタ 2 でそれぞれオプション設定ができます)。

## タブレット操作エリア

ディスプレイ画面に割り当てられるペンタブレット上の操作領域を定義するには、「マッピング」タブの「タブレット操作エリア」オプションを選択します。

最大	ペンタブレットの操作エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
一部領域 ...	表示されるダイアログボックスから、操作面の一部を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、選択した表示エリアに割り当てるタブレット操作エリアを設定します。
- 「開始」ボタンを選択し、入力デバイスを使ってタブレット操作エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。
- タブレット操作エリアの上、下、左、右の境界に対して数値を入力する方法です。





## ボタン機能

作業スタイルに合わせて Intuos をカスタマイズできます。サイドスイッチ、ファンクションキー、またはラジアルメニューの設定に割り当てられたボタン機能を、コントロールパネルから簡単に変更することができます。機種により、割り当てることができる機能は異なる場合があります。スイッチやキー、あるいは機種により利用できない機能もありますのでご注意ください。

機能	説明
クリック	
• クリック	ペン先の標準設定です。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右ボタンクリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	デバイスボタンを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、テキストブロックを選択したりする場合に便利です。
• 第4ボタンクリック	マウスの第4ボタンクリック（戻る）に相当します。
• 第5ボタンクリック	マウスの第5ボタンクリック（進む）に相当します。



## 機能

## 説明

## キーストローク ...

キーストロークを実行することができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが開きます。手動で、1つのキーストロークまたはキーストロークの組み合わせを「キー」ボックスに入力することができます。キーストロークには、文字キー、テンキー、「F3」のようなファンクションキー、修飾キー（Windowsでは「Shift」、「Alt」、「Ctrl」、Macでは「shift」、「option」、「command」、「control」キー）を組み合わせることができます。「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択します。キーストロークの組み合わせを入力したら、「OK」をクリックします。

**重要：**「Enter」キー（Windows）および「return」キー（Mac）は、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに使用しないでください。必ず入力デバイスを使用して「OK」をクリックしてください。

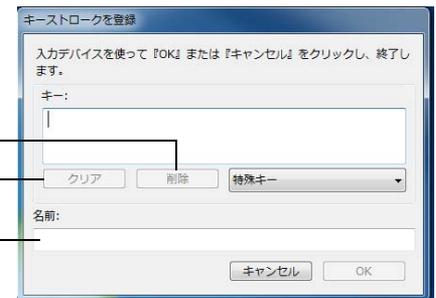
キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれのコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容のみを削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。

定義したキーストロークの名前を入力することができます。



各ソフトウェアがどのキーストロークショートカットに対応しているかについては、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

## デスクトップの表示

開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。

## タスク切り替え

「タスク切り替え」ダイアログボックスが表示され、起動中のソフトウェアから前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。Aeroを搭載したWindows 7およびWindows Vistaのシステムでは、フリップ3Dが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。



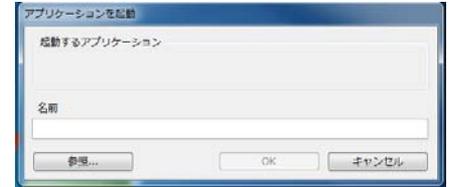
## 機能

## 説明

## 開く / 起動 ...

ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。

「参照 ...」 ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。その選択でよければ「OK」をクリックします。



ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」 オプションがデバイスボタンオプションとして割り当てられます。次回デバイスボタンを押すだけで、割り当てられたオプションが起動します。

ラジアルメニューを選んだ場合、その場所に表示されるようになります。

## Ink 文字認識 ON/OFF

(Mac のみ) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Mac のヘルプをご覧ください。

## Exposé

(Mac のみ) 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ...」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。

## 筆圧一定

ボタンを押している間、筆圧を現在の筆圧レベルに保ちます。たとえば筆圧感度を使って描画をし、筆の太さが希望のレベルになったところでボタンを押すと、ボタンを離すまでは同じ太さで描画できます。



## 機能

## 説明

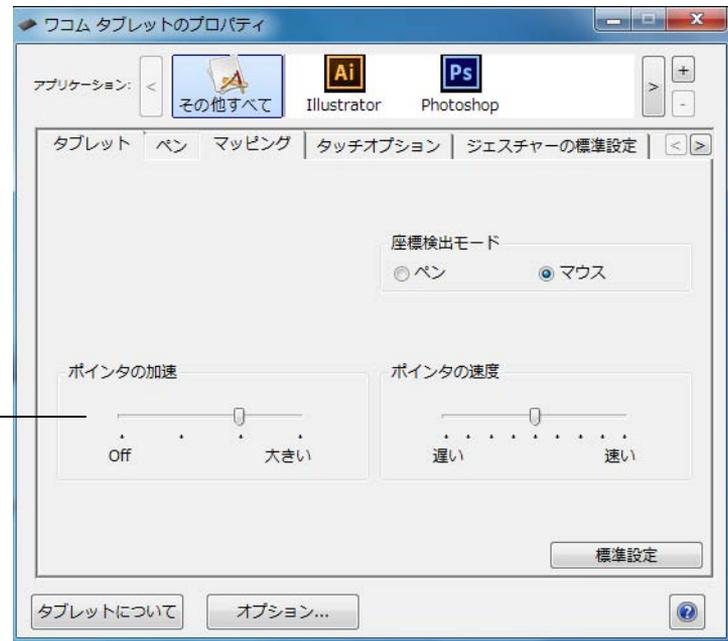
マッピング画面切り替え

マルチディスプレイシステムで使用します。この機能の割り当てられたファンクションキーを押すと、マッピングとポインタを現在のディスプレイから別のディスプレイへ切り替えることができます。

ペン⇄マウスモード ....

ペンモードとマウスモードを切り替えます。

マウスモードの設定は「マッピング」タブの座標検出モードから「マウス」を選択して加速と速度を調整します。



マウスモードは、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」は、カスタマイズ中のソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。コントロールパネル内で設定を変更しても、システム側の同内容の設定に影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、お使いのタブレット設定に影響する場合があります。



機能	説明
消しゴム	「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。
タブレット PC	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tablet PC 入力パネル</li> </ul>	Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 8、Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。この機能が割り当てられたデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Journal</li> </ul>	Windows Journal を含む Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。Windows Journal が開きます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tablet PC の設定に従う</li> </ul>	Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 8、Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。 以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の「Tablet PC 設定」と「ペンと入力デバイス」コントロールパネル</li> </ul>
Windows キー	(Windows のみ) 「スタート」メニューの表示／非表示を切り替えます。
無効	デバイスボタンの設定を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、CAD プログラムのように、ペンタブレットのサポートが組み込まれたソフトウェアで働きます。 また、高度な統合ソフトウェアによっては、ファンクションキーを直接コントロールすることができるようになります。
標準設定	デバイスボタンを標準設定に戻します。



## ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円形のポップアップメニューです。ラジアルメニューをカスタマイズすると、編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

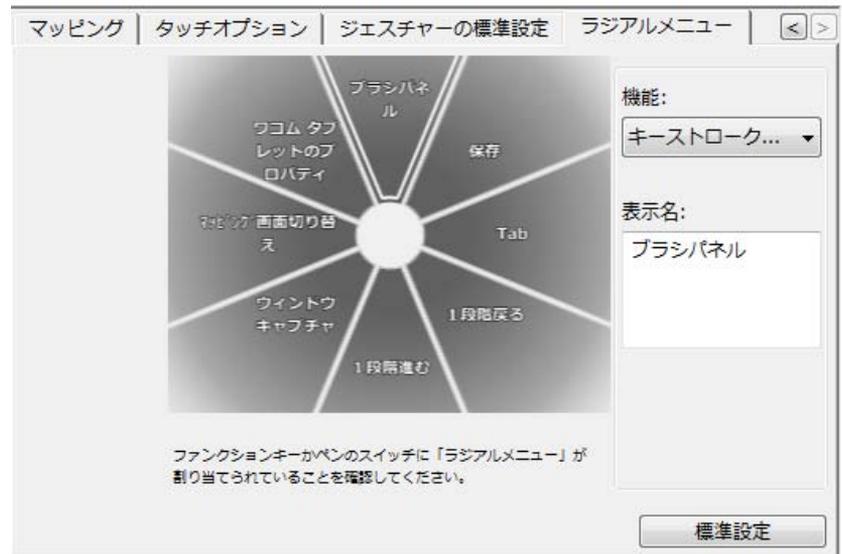
コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

サイドスイッチまたはファンクションキーに「ラジアルメニュー」を設定します。デバイスボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心として表示されます。

機能を割り当てられたジェスチャーを使ってラジアルメニューを開くこともできます。

1. 扇形（メニュー項目）を1つ選択します。
2. 任意の「機能」を割り当てます。必要に応じて「表示名」を変更してください。
3. 機能を選択せずに終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。再びメニューを表示するときは、「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押します。
4. ラジアルメニューを開いたままで選択するには、ラジアルメニューを呼び出すデバイスボタンを押し続けます。

- ヒント：
- 「Enter (Return)」キーを押すと、複数行の「LABEL」テキストを追加できます。
  - 「標準設定」をクリックすると、現在のメニューを標準設定に戻すことができます。



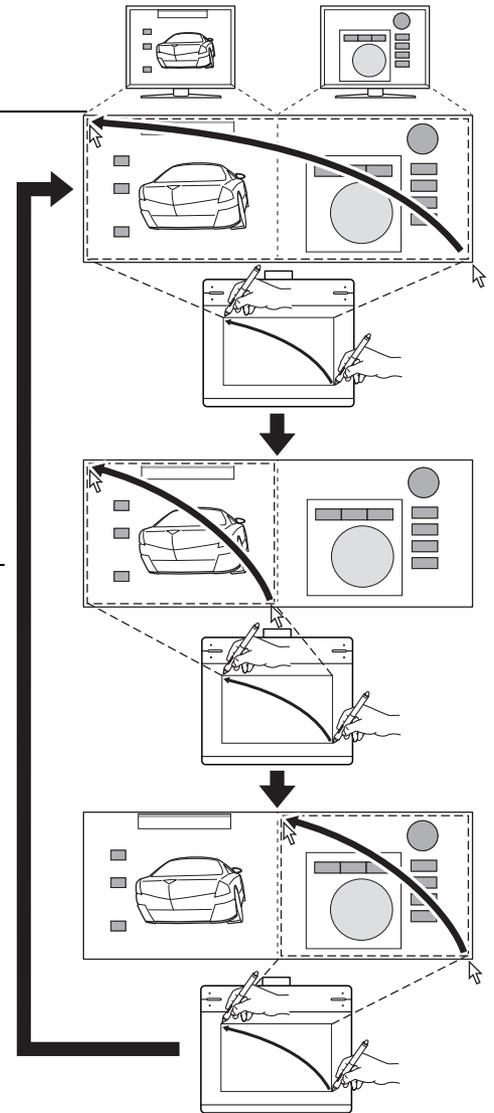
## マッピング画面切り替えを使う

マルチディスプレイ環境では、「マッピング画面切り替え」を利用することができます。この機能を使うと、ペンタブレット1台をディスプレイ全体に、あるいはディスプレイ1つずつに割り当てを切り替えながら作業を行うことができます。[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。

ファンクションキーまたはサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」に設定すると、デバイスボタンを押すことで、基本マッピング（「[マッピング](#)」タブの設定）とその他のディスプレイマッピングを順番に切り替えることができます。

1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Intuos の操作エリアに割り当てられています。

2. 「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンを押すと、ペンタブレットのマッピングを次のディスプレイに順番に切り替えていきます。



## アプリケーションソフトウェアの設定をカスタマイズする

「アプリケーション」リストでは、新しいソフトウェアを追加した上で、そのソフトウェアを使用する場合の設定をカスタマイズすることができます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン芯の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定することができます。

- ソフトウェアごとの設定を行わなかった場合は、「すべて」アイコンが表示され、「グリップペン」はどのソフトウェアでも同じ設定になります。
- 特定のソフトウェアに対する設定が追加されると、「すべて」アイコンは「その他すべて」アイコンに変わり、追加されたソフトウェアのアイコンが表示されます。
- ソフトウェアのアイコンを選択して「ペン」の設定を変更した場合、その変更はそのソフトウェアのみに適用されます。



特定のソフトウェアに対する設定の詳細については、以下の項目をご参照ください。

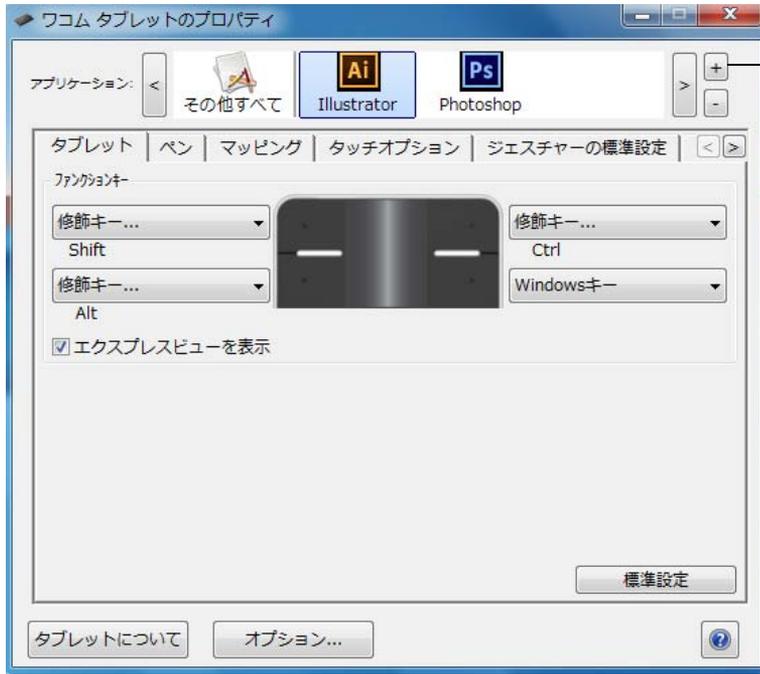
[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を変更する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)

## 特定のソフトウェアに対する設定を作成する

個別に設定を作成したいソフトウェアを選択します。



「アプリケーション」リストの  
[+] ボタンをクリックします。

ソフトウェアを選択する方法を次の2つのうちいずれかから選びます。

- 「開いているアプリケーション」ボックスから、設定を作成するソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。

選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。



ソフトウェアを追加したあと、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。コントロールパネルからソフトウェアのカスタマイズを行うことができます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の設定が適用されます。

## 特定のソフトウェアに対する設定を変更する

特定のソフトウェアの設定を変更するときは、「アプリケーション」リストからソフトウェアを選択します。続いてタブの設定をカスタマイズします。

## 特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「アプリケーション」リストから、リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで、[-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。ソフトウェアはリストから削除されます。

## オプション設定

「オプション」ダイアログボックスを表示するには、コントロールパネルで「オプション」をクリックします。

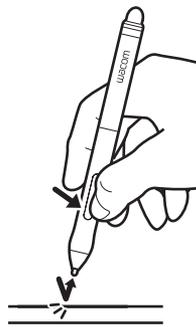
「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合：ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。タブレット PC 以外の標準設定です。

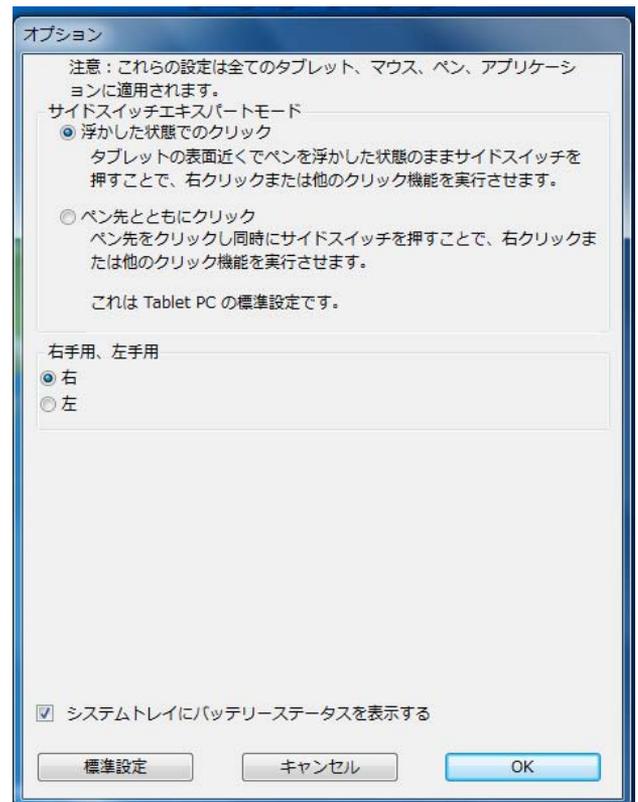


浮かした状態でのクリック

- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合：正確なクリック位置を決めることが可能です。クリック操作を行うには、サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチします。



ペン先とともにクリック



- 「右手用、左手用」では、設定を変更するとジェスチャーの向きが利き手に合わせて変更されます。

## タブレット設定を管理する

1 人または複数のユーザ用のタブレット設定を管理するときは、ワコムタブレット設定ユーティリティを利用します。

**Windows 8 の場合：**Windows 8 のスタート画面から「ワコム タブレット設定ファイルユーティリティ」タイルを選択するか、画面の右端からチャームを表示して、「検索」を選択し、検索ボックスに「タブレット設定ファイルユーティリティ」を入力して、アプリで表示される「ワコム タブレット設定ユーティリティ」をクリックします。

**Windows 7 および Windows Vista の場合：**

1. 「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。
2. 「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

タブレット設定ファイルは、どの Windows システムでも以下のように設定してください。

- 現在のユーザのタブレット設定を削除するときは、「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックします。
- 複数のユーザのタブレット設定を削除するときは、「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックします。  
すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- タブレット設定のバックアップを作成するときは、「ログインユーザーの設定ファイル」の「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

**Mac の場合：**メインメニューの「アプリケーション」を開きます。続いて「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に「削除」をクリックします。ログアウトし、再度ログオンします。  
タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべて新しい設定ファイルが作成されます。
- 設定ファイルのバックアップを作成するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。  
次に「復元」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

## 複数のペンタブレットをインストールする

コンピュータに、同じドライバを使用する別のペンタブレットを同時に接続すると、そのペンタブレットのアイコンがコントロールパネルの「タブレット」リストに表示されます。新しいペンタブレットを選択すると、そのペンタブレットに付属するツールが「入力デバイス」リストに表示されます。

接続したペンタブレットで作業するときは、「タブレット」リストでそのペンタブレットを選択し、設定をカスタマイズします。



## Intuos をワイヤレスで使う

Intuos は、ワイヤレスキットを使うことにより、ワイヤレスでのご使用が可能になります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

[ワイヤレスキットの構成](#)

[ワイヤレスキットの取り付け](#)

[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)

[電池寿命について](#)

[電池を交換する](#)

[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)

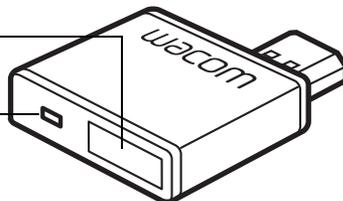
[ワイヤレスレシーバーの保管](#)

### ワイヤレスキットの構成

ワイヤレスキットの構成は以下の通りです：

電源ボタン

充電ステータスランプ

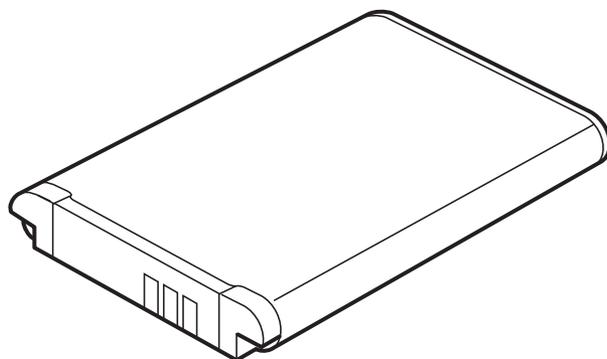


ワイヤレスモジュール  
Intuos ペンタブレット本体に接続します。



ワイヤレスレシーバー  
コンピュータに接続します。

使用しないときはペンタブレット内部に収納できます。[ワイヤレスレシーバーの保管](#)をご覧ください。



充電式リチウムイオン電池  
ペンタブレット内部にセットします。

#### 警告

製品安全上のご注意については別売りのワイヤレスキットに付属の「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

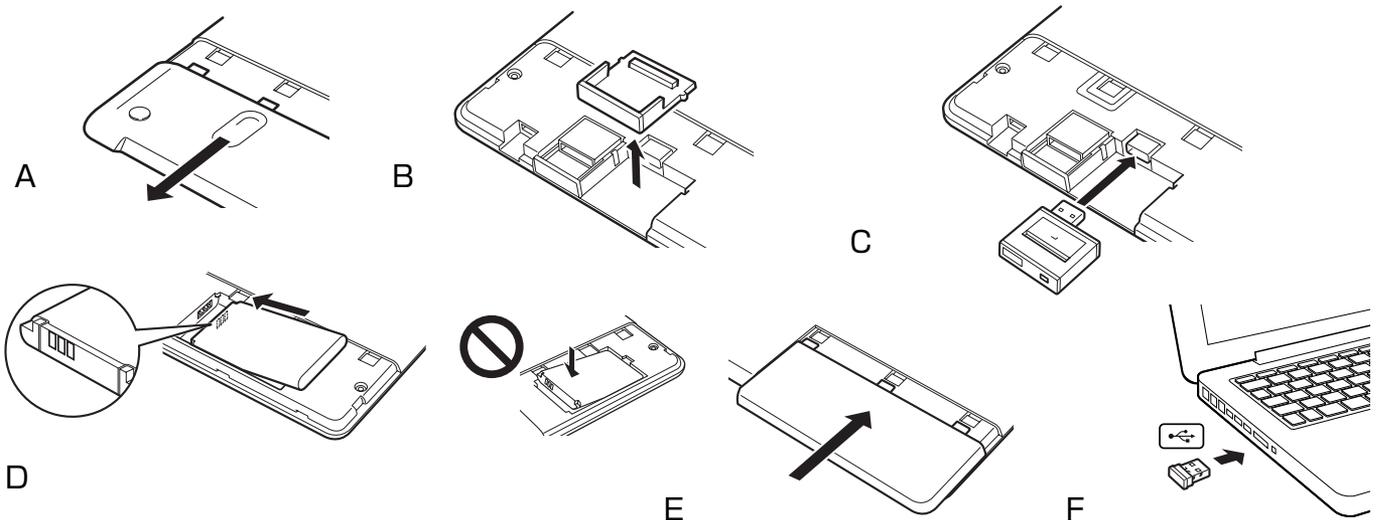
補足：ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、セットになった状態で販売されます。紛失したり破損した場合には、新しいワイヤレスキットをご購入ください。電池は単体でご購入いただけます。

ワイヤレスキットの接続のしかたは、[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。

## ワイヤレスキットの取り付け

ワイヤレス通信をするために、以下の作業を行います。

1. ペンタブレットから USB 接続ケーブルを取り外します。
  2. ペンタブレットを裏返します。ペンホルダーを下（手前）にした状態でワイヤレスキット収納部は左側、電池収納部は右側にあります。
  3. ワイヤレスキットカバー（A）とワイヤレスモジュール収納部の保護カバー（B）を取り外します。  
**重要：付属の保護カバーは保管しておいてください。ワイヤレスモジュールを取り外すときに必要になります。ワイヤレスモジュールを取り外すをご覧ください。**
  4. ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーを取り付けます（C）。コネクタ部分が完全に収まるまで確実に押し込んでください。
  5. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。
  6. 電池カバーを取り外します。
  7. 電池を図（D）の矢印の方向にゆっくりと押し込んでセットし、電池カバー（E）を元通りに取り付けます。  
**補足：電池をセットするときは、まっすぐ下向きに押し込まないでください。まず端子部と端子部の位置を合わせてゆっくりと挿入し、次にもう一方の端を入れます。**
  8. お使いのコンピュータの有効な USB ポートに、ワイヤレスレシーバーを接続します（図 F）。
  9. コンピュータを起動していなければ、起動して、スタンバイ状態になるのを待ちます。
- 引き続き説明に従って、ワイヤレス通信を確立してください。



### [ワイヤレス通信の確立](#)

### [ワイヤレス通信を最適化する](#)

## ワイヤレス通信の確立

ペンタブレットとコンピュータ間をワイヤレス通信で接続します。

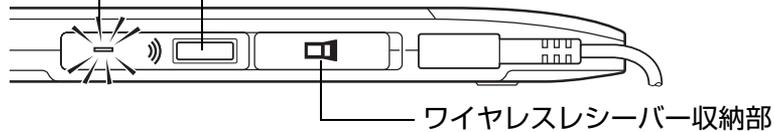
1. 電池を完全に充電します。[電池の充電](#)をご覧ください。ランプが緑色に点灯し電池がフル充電になっていれば、USB 接続ケーブルを取り外しワイヤレスでお使いいただけます。

### 充電ステータスランプ

- USB 接続ケーブルが接続され、電池が充電中のときはオレンジ色です。
- USB 接続ケーブルが接続され、電池がフル充電状態のときは緑色です。
- ワイヤレスでペンタブレットを使用しているときは消灯しています。

### 電源ボタン

- 通信を開始するときあるいはスリープモードから復帰する場合に押します。
- 電源を切るときに押します。



2. 起動しているコンピュータにレシーバーが挿してある状態で、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。数秒以内にワイヤレス通信が確立されます。確立されない場合は、ワイヤレスモジュールの電源が切れます。その場合は[ワイヤレス通信の問題](#)をご覧ください。
3. ペンタブレット上でペンを使用して画面のポインタを動かし、接続を確認してください。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)もご覧ください。

Intuos はワイヤレス接続または USB 接続のどちらかで操作できますが、同時に両方を使うことはできません。

- ワイヤレス接続は、Intuos がワイヤレス操作用に正しく設定され、USB 接続ケーブルが本体から外されている場合に有効となります。USB 接続ケーブルが本体から外されると、ペンタブレットは自動で検索を開始し数秒以内にワイヤレスレシーバーに接続します。レシーバーが見つからない場合はスリープモードになります。
- USB 接続ケーブルを接続すると、自動的にワイヤレス接続から USB 接続に切り替わり充電が開始されます。

**補足：**ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、工場出荷時にペアリングされており、ペアでひとつのセットとして機能します。ペアリングを行う必要はありません。

Intuos はお使いのコンピュータから約 10 メートルの範囲でワイヤレス操作できます。Intuos をワイヤレスレシーバーの近くに置く必要はありません。ワイヤレスモジュールは無線周波数の技術を使用しています。この無線波は机のような金属以外の物体を通過することができます。

お使いのコンピュータに接続された他のデバイス（オーディオなど）、あるいは電波の通り道やその近くに置かれた金属類は、ペンタブレットの動作不良や通信障害を引きおこす可能性があります。もし、通信がうまくいかない場合は、[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

コンピュータを起動した場合にはオペレーティングシステムの起動が完了するまで待ち、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを入れて（最初にスイッチが入っていない場合）ワイヤレス操作を始めてください。

**重要：**ワイヤレスデバイスの使用は、国によって規制が設けられています。ワイヤレス操作に設定した Intuos を持って旅行する場合には、渡航先の国で製品に適用される制限について、必ず関係規制当局にご確認ください。



### ⚠ 警告

ワイヤレス信号を使用する製品は、民間飛行機の機器を妨害することがあり、規則により、飛行機内すべてのワイヤレスデバイスの電源を切るよう要求されます。機内に持ち込む場合、ワイヤレスの電源をオフにするかモジュールを取り外し、ワイヤレス信号がオフの状態にしてください。特に離発着、飛行時には決して電源スイッチをオンにしないでください。

### ⚠ 警告

極めて高い信頼性が要求される場所や、ワイヤレスタブレットがその他の電子機器の妨害または誤作動の原因になる恐れのある、施設管理システムやその他の環境では Intuos をワイヤレスで絶対にお使いにならないでください。使用が禁止されている場合には、ワイヤレスの電源をオフにするかモジュールを取り外し（取り外し前に信号が切っていることを確認）、その他の電子機器を妨害または誤作動の原因にならないようにしてください。弊社は直接的または間接的損害に対しての責任を一切負わないものとします。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

### ⚠ 警告

電子機器の使用が禁止されている場所では、ペンタブレットを使用しないでください。航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所では、ペンタブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。コンピュータから USB 接続ケーブルを抜いて、ペンタブレットのワイヤレスモジュールの電源を切ってください。

## ワイヤレス通信を最適化する

ポインタがペンタブレット上のペンの動きに遅れたり意図しない動きをする場合や、グラフィックソフトで描画している時に極端にまっすぐな線が表示される場合には、ワイヤレス機能が最適な速度でペンタブレットからのデータを送信できていない可能性があります。これは、その他の電波発生源からの妨害、電波経路にある障害物、またコンピュータから離れすぎているなど複数の理由が考えられます。

以下の対策を行ってワイヤレス通信を向上させ、ペンタブレットの操作性を最適化してください。

- Intuos とコンピュータに取り付けたワイヤレスレシーバーの電波経路上にある金属類を取り除く。
- ペンタブレットをコンピュータに近づける。
- 携帯電話などの 2.4GHz 無線周波数で動作するすべてのデバイスの電源を切るか、コンピュータから遠ざける。



## ワイヤレスモジュールを取り外す

ワイヤレスモジュールを取り外す場合は：

1. ワイヤレスキットカバーを取り外します。
2. 付属の保護カバー、または金属製ではない工具を使って、モジュールを浮かせて取り外します。付属の保護カバーを使う場合は、内側の出っ張りをワイヤレスモジュールの溝に合うようにかぶせてフックのように使い、モジュールを浮かせて取り外してください。
3. 保護カバーをワイヤレスモジュール収納部に入れます。
4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。
5. 取り外したワイヤレスモジュールはワイヤレスレシーバーとペアで大切に保管してください。

## 電池および電源管理

このセクションでは、Intuos をワイヤレスで使用した場合の充電式リチウムイオン電池および電源管理の機能に関する重要な情報を記載しています。必ず以下の項目をご覧ください。

[電池の充電](#)

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)

[省電力機能](#)

### 電池の充電

Intuos をワイヤレス接続でご使用になる前に、充電式リチウムイオン電池をフル充電にしておきます。

Intuos とコンピュータの USB ポートとの間に USB 接続ケーブルを接続します。

- USB 接続ケーブルが接続されている場合、フル充電になるまで自動で充電されます。
- 充電時間は、通常使用の場合は約 4 時間、電池残量 0 の状態からフル充電の場合は約 6 時間かかります。実際の充電時間は、電池の残量および充電中のペンタブレットの使用状況により変わります。
- 充電中は USB 接続になるため、ワイヤレスでの操作はできません。

**重要：**USB ハブではなく必ずコンピュータ本体の USB ポートと接続し充電してください。  
USB ハブによっては充電するための電流を供給できない場合があります、その場合はタブレット操作に影響を及ぼす場合があります。

USB 接続ケーブルでペンタブレットとコンピュータを接続していない場合に、USB AC アダプタを使用して充電することができます。

### 警告

安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

**ヒント：**充電するときは、電池およびワイヤレスモジュールの両方がペンタブレットに取り付けられていることを確認してください。

充電式リチウムイオン電池の充電状態をチェックするには、コントロールパネルを開いて「タブレット」タブを選択します。

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。

[省電力機能](#)と[電池寿命について](#)もご覧ください。

## 電池およびワイヤレス通信の状態

ワイヤレス接続でのペンタブレットの状態表示は以下の通りです。

- ・ パワーランプ：

点滅	ワイヤレス通信の確立中。
点灯	ワイヤレス接続が有効。
消灯	スリープモード、またはワイヤレス接続が無効。

- ・ 充電ステータスランプ（ワイヤレスモジュール）：

オレンジ色	USB 接続ケーブルから充電中。
緑色	USB 接続ケーブルから充電完了。（フル充電）
消灯	USB 接続で、サスペンドまたは通信中。 USB 接続ケーブルが外れている。充電が行われていない。 USB 接続ケーブルが外れている。ワイヤレスで動作中。

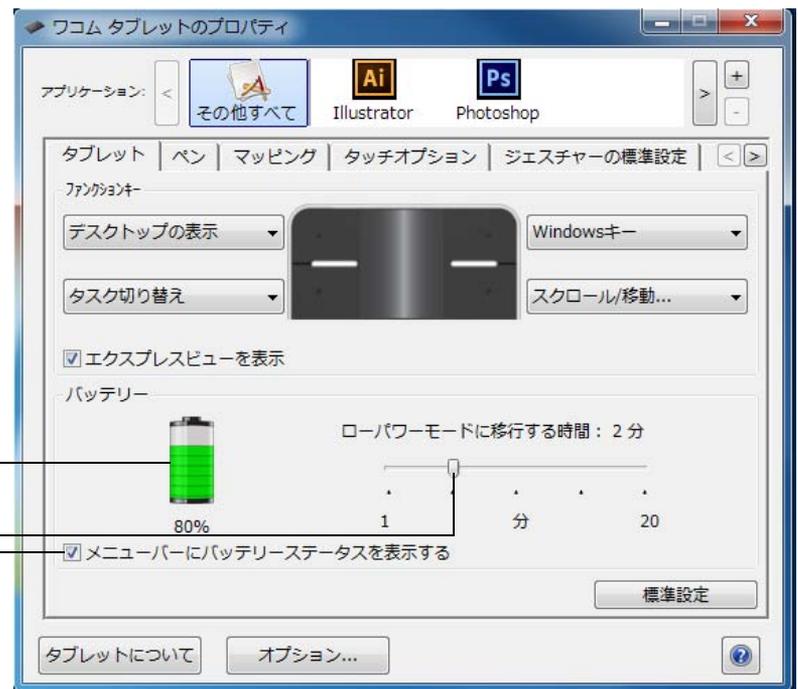
- ・ システムのタスクトレイ（Windows）またはメニューバー（Mac）に充電ステータスアイコンが表示されます。ポインタをアイコン上に置くと、アイコンの情報が表示されます。
- ・ ワイヤレス操作に設定されているときには、コントロールパネルから電池残量、およびワイヤレス操作のオプション情報を確認することができます。コントロールパネルを開いて「タブレット」タブを選択します。

充電ステータスアイコンはペンタブレットが使用中であることと、おおよその充電残量を表示します。

- ・ スライダーを調節し、節電モードに切り替わる条件を決定します。
- ・ 電源プラグの表示は、ペンタブレットが USB 接続の外部電源で動作中、および充電中であることを示します。
- ・ チェックマークの表示はフル充電の状態であることを示します。
- ・ アラートマークの表示は電池残量が 20% 未満であることを示します。

- ・ 電池の状態をメニューバーに表示するときは、チェックボックスにチェックを入れます。

お使いのペンタブレットやオペレーティングシステムの状態によって、表示は異なる場合があります。[省電力機能](#)もご覧ください。





## 省電力機能

Intuos には、ワイヤレス操作に設定されているとき、電池の電力を節約しつつ性能を保つよう設計された多くの節電機能が搭載されています。

### 省電力モード

入力のない状態が 2 分以上続くと、ペンタブレットは省電力モードに入ります。時間の設定はコントロールパネルで変更できます。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。

操作を再開する場合は、お使いの機種により、ペンタブレットに触れる、ファンクションキーを押す、ペンを検出範囲に持ってくるのいずれかを行います。

### スリープモード

以下の場合にペンタブレットはスリープモードになります：

- ワイヤレス通信のない状態が 4 秒以上続いた場合。コンピュータの電源を切るかペンタブレットを通信範囲の外に移動させる、あるいはワイヤレスレシーバーを取り外した場合です。この状態から操作を再開するには、コンピュータの電源を入れ、ペンタブレットをコンピュータとの通信範囲内に置き、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。[ペンタブレットのテスト](#)をご覧ください。
- 入力のない状態が 30 分以上続いた場合。
- 電池残量が極端に少ない場合。直ちに充電を行ってください。

操作を再開するときは、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。お使いの機種に応じて、指またはペンでペンタブレット操作面に触れ、ペンタブレットに沿って動かすと、ペンタブレットの機能が復帰します。

**重要：**ペンタブレットを使用しない場合は、ワイヤレスモジュールの電源を切って、充電式リチウムイオン電池の電力を節約してください。電源を切るときは、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。電源を入れたままにすると、次回ペンタブレットを使用する前にペンタブレットの電池を充電しなければならない場合がありますのでご注意ください。[電池寿命について](#)をご覧ください。





## 電池寿命について

Intuos をワイヤレスで使用する場合、使用状況とお使いの機種により電池寿命は変わります。フル充電で、CTL-480 では約 48 時間、CTH-480 では約 30 時間、CTH-680 では約 30 時間の連続使用が可能です。

ワコムでは、予備の電池のご購入をお勧めしております。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

- 電池はご使用につれ劣化し蓄電能力が低下します。ご使用状況にかかわらず、充電式リチウムイオン電池の標準寿命は約 2 年です。
- 充電式リチウムイオン電池の寿命と性能は、電池の使用と再充電を繰り返し行っても改善はされません。
- 画面に電池残量が少ないという警告が表示されたときは、速やかに充電を行ってください。[省電力機能](#)もご覧ください。
- 電池電圧が最低安全レベルよりも低下した場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。

電池の残量が少ない状態で、電池が長期間ペンタタブレット内にあると、電池から少量の電流が流れ、電池が放電しやすくなります（過放電）。この場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。長期間ペンタタブレットを使用しない場合は、ペンタタブレットから電池を取り出して保管してください。

過放電された電池は、充電ができなくなります。

- ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているときは、ペンタタブレットにはいつでも電池から電流が流れています。充電レベルが極度に低下すると、ペンタタブレットは電池残量を減らさないために、スリープモードに入ります。この場合は充電を行ってください。  
スリープモード中でもペンタタブレットは少量の電力を消費し続けます。数日間ペンタタブレットを使用しない場合は、電池を充電してからワイヤレスモジュールの電源を切ってください。
- 長期間（1 カ月以上）保管する場合、電池をある程度充電し（約 40%の充電を推奨）、涼しい場所に保管してください。ペンタタブレットと電池の両方を保管する場合電池を取り外す必要はありません。  
補足：充電式リチウムイオン電池を使用せず 6ヶ月間以上経過すると、再充電できなくなることがありますのでご注意ください。

電池が劣化して十分な充電量を維持できなくなるか充電できなくなった場合には、新しい電池を購入する必要があります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

### ⚠ 警告

電池の安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。





## 電池を交換する

ペンタブレットの電池が寿命で充電や蓄電ができなくなった場合、電池を交換する必要があります。ワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池以外はご使用になれませんのでご注意ください。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

**重要：必ずお使いのワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池をご使用ください。**

電池を交換する：

1. ペンタブレットを裏返します。電池カバーを取り外します。カバーを横へスライドさせ、ペンタブレットの本体から取り外してください。
2. 古い電池をゆっくりと取り出します。必ず端子部とは反対側を先に持ち上げ、コンパートメントから取り出してください。
3. 新しい電池をセットします。端子部をペンタブレットの端子部の位置と合わせ、収納部に押し込んでください。

[ワイヤレスキットの取り付け](#)の図をご覧ください。

補足：電池をセットするときは、まっすぐ下向きに押し込まないでください。まず端子部と端子部の位置を合わせてゆっくりと挿入し、次にもう一方の端を入れます。

4. 電池カバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。
5. USB 接続ケーブルを接続し、電池を充電します。[電池の充電](#)をご覧ください。

**重要：電池を交換するときに、硬い物の上などに電池を落とさないようにご注意ください。電池内部が破損するおそれがあります。また落とした電池は、破損したように見えない場合でも新しい電池と交換してください。万一ペンタブレット内部でショートや液漏れが発生した場合、ペンタブレットが故障する恐れがあります。**

### ⚠ 警告

安全上のご注意については、ワイヤレスキットの「製品に関する重要なお知らせ」または充電式リチウムイオン電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

多くの地域で自主的または強制的リサイクルプログラムを実施しています。ご使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って、さらに「製品に関する重要なお知らせ」に記載されているリチウムイオン電池に関する安全上のご注意をお読みの上、適切にリサイクルしてください。電池はお子様の手の届かない所に保管してください。使用済みの電池は直ちにリサイクルしてください。





## ワイヤレスレシーバーの保管

ワイヤレスレシーバーは、持ち運びのしやすさを考えて設計されています。お使いのコンピュータの USB ポートに取り付ければ、取り付けたままいつでも使用することができます。旅行先に Intuos を携帯する場合も同じです。

移動時などにはワイヤレスレシーバーを取り外し、ペンタブレット本体に収納することもできます。収納のしかたは以下の通りです：

1. 指先や金属製ではない工具を使用して、ワイヤレスレシーバー収納部を開きます。
2. 収納部カバーを本体から少し引き出します。
3. レシーバーを収納部カバー内に挿入します。
4. 収納部カバーをスライドさせて元の位置に戻し、フタを閉じます。

## ワイヤレス通信のテスト

パワーランプは、ペンタブレットが正常に接続されお使いのコンピュータがペンタブレットを USB デバイスの 1 つとして認識している場合に、常に点灯します。ワイヤレス接続で問題が発生した場合は、以下のチェックを行ってください。

1. 最初に、一般的な[トラブルシューティング](#)で問題を確認します。
2. ワイヤレスモジュールのスイッチがオンになっていることを確認します。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)を確認します。
3. ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられていることを確認します。[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。
4. [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。[電池の充電](#)をご覧ください。
5. ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし再度オンにします。
6. ペンタブレットをお使いのコンピュータに近づけます。ペンタブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。
7. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスはペンタブレットについての現在の状態を表示します。「ワイヤレスモード」の入力内容をチェックし、ワイヤレスのステータスが「オン」になっていることを確認します。作業終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

これらのテストに不合格の場合はハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。





## トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を調べてください。
2. [トラブルシューティング情報](#)をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってみてください。
3. ワコムユーザサポートページのFAQ（よくある質問）を参照してください。  
<http://tablet.wacom.co.jp/customer-care/>
4. Intuos と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるかチェックしてください。更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報については、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。ワコムは新製品との互換性を維持するために、ドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
5. ペンタブレットと入力デバイスを診断します。[ペンタブレットのテスト](#)と[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。
6. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポートに関する情報については、[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

[ペンタブレットのテスト](#)

[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)

[トラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)





## ペンタブレットのテスト

1. コンピュータの電源を入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. **USB 接続をチェックします。**ペンタブレットが正しく接続され、USB デバイスとして認識されるとパワーランプが点灯します。そうならない場合は、以下を参照してください。
  - ペンタブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの利用可能な USB ポートにしっかり接続されていることを確認します。
  - ペンタブレットの USB 接続ケーブルに損傷がないかチェックします。
  - 別の USB ポートにペンタブレットを接続するか、または別のコンピュータの USB ポートに接続してみてください。
3. **ワイヤレス操作**については、ペンタブレットの通信をチェックします。ペンタブレットが適切に接続されていて、USB デバイスとして認識されると、パワーランプが点灯します。点灯しない場合には以下のことを行ってください：
  - ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているかを確認します。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。
  - ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられているかを確認します。[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。
  - [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。[電池の充電](#)をご覧ください。
  - ワイヤレスモジュールの電源をオフにし、再度オンにします。
  - ペンタブレットをお使いのコンピュータに近づけます。ペンタブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。





#### 4. ペンをチェックします。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、ペンは正常に動作しません（ポインタの移動とクリック以外の動作ができません）。タブレットドライバの再インストールを行ってください。

- ペンタブレットの操作エリアの上でペンを移動してみてください。画面上のポインタが、ディスプレイ画面で対応する方向へ移動すれば正常です。
- ペンタブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが点灯すれば正常です。
- ペンを回転させ、テールスイッチ（消しゴム）をペンタブレットに押しあてます。ステータスランプが点灯すれば正常です。

[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[ペンのテスト](#)をご覧ください。

#### 5. タッチをチェックします。

指に反応して画面のポインタが動くことを確認します。次に指で操作エリアにタッチしてステータスランプが点灯することを確認します。点灯しない場合は、ペンタブレット側面のタッチ切替スイッチを反対側に切り替えてからもう一度タッチしてください。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。ジェスチャーが認識されない場合は、タブレットドライバをインストールしてください。

#### 6. ファンクションキーをチェックします。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[ファンクションキーのテスト](#)をご覧ください。

これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

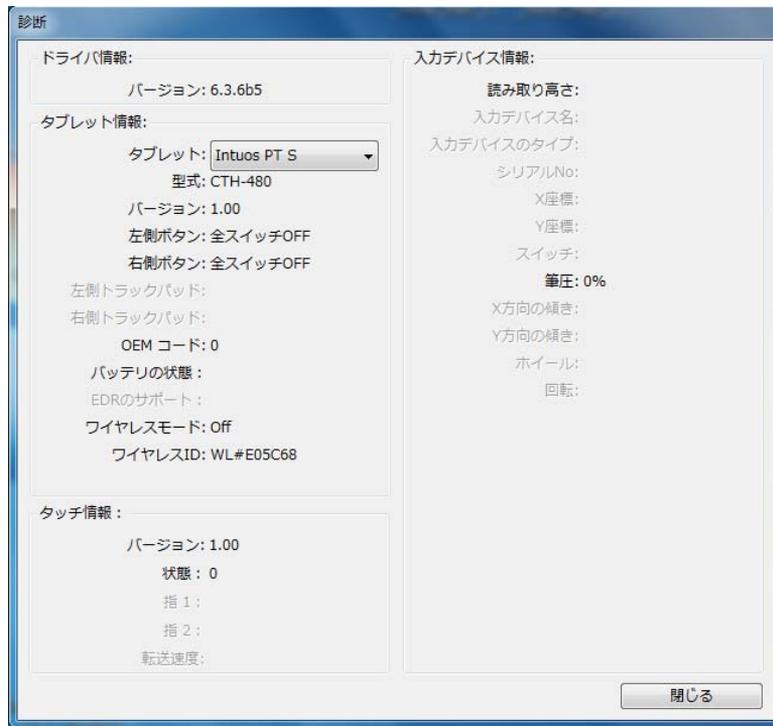
テスト前にペンタブレットや入力デバイスをカスタム設定で使っていた場合は、テストが終わったらコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。



## ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト

入力デバイスやペンタブレットの機能が思うように動作しない場合、初めに割り当てた機能をチェックするか、あるいは標準設定の状態に戻してみてください。タッチ入力可能な機種でタッチ関連の問題が発生した場合も、上記の方法をお試しください。

- コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスにはペンタブレット、入力デバイス、そしてタッチ入力可能なペンタブレットの現在の状態が提示されます。



- 複数のペンタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で現在テスト中のペンタブレットを選択してください。
- ペンタブレットと入力デバイスをテストする際には、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：デバイスボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動…」に設定されている場合、デバイスボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にデバイスボタンの機能を変更してください。

[ファンクションキーのテスト](#)

[ペンのテスト](#)



## ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストして「タブレット情報」欄を観察してください。  
「タブレット情報」欄で、必ず現在テストしているペンタブレットを選択してください。
2. ファンクションキーを1つずつ押してテストします。キーを押すと「左側ボタン」または「右側ボタン」カテゴリーのとなりに番号が表示されます。
3. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

**重要：**ソフトウェアによってはファンクションキーの機能が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

## ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いて「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペンをペンタブレットの操作エリアから10 mmを超えないように浮かせます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No」の値が表示されます。
2. ペンタブレットの操作エリアでペンを移動させると、「X 座標」と「Y 座標」のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. ペンのデバイスボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をペンタブレットの上で押すと、診断画面の値が変化します。
  - タブレットエリアをペン先でクリックします。「入力デバイス情報」の「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0%からおよそ100%まで変化します。
  - 次に、ペンタブレットにペン先を押し当てずにサイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。この操作はペンの両方のサイドスイッチに対して行います。

ペン	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ（下側） = 2
	サイドスイッチ（上側） = 3
	テールスイッチ（消しゴム） = 1
  - ペンタブレットにペンのテールスイッチ（消しゴム）を押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります。「筆圧」は0%から100%まで変わります。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。





## トラブルシューティング情報

ペンタブレットまたは入力デバイスで問題が生じた場合、次の表をご覧ください。問題が説明され、解決策が提示されていれば、その方法をお試しください。最新の情報が記載されています。

問題のより詳細な情報については、ワコムのカスタマーサポートページ (<http://tablet.wacom.co.jp/customer-care/>) をご覧ください。

### [一般の問題](#)

### [ペンの問題](#)

### [タッチの問題](#)

### [ワイヤレス通信の問題](#)

### [Windows の問題](#)

### [Mac の問題](#)

## 一般の問題

<p>パワーランプが点灯しない。</p>	<p>ペンタブレットの USB 接続ケーブルが、ペンタブレットと利用可能な USB ポートに正しく接続されていることを確認します。</p> <p>別の USB ポート、または USB 接続ケーブルと接続してみてください。</p> <p>ワイヤレス接続でお使いの場合は、<a href="#">ワイヤレス通信の問題</a> をご覧ください。</p>
<p>コンピュータが節電モードにならない。</p>	<p>Intuos の入力デバイスを使用しない場合、タブレット面上に置かないでください。置いたままにすると、ペンタブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。</p> <p>補足：金属その他の導電性の物体の中には、ペンタブレットがデータを送る原因となるものがあるため、使わないときはタブレット面に何も置かないのが一番です。</p>
<p>ペンタブレット使用中に、画面のポインタが揺れたり、「ジャンプ」をする。</p>	<p>まれに、ペンタブレットはコンピュータ画面あるいは AM ラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、ペンタブレットをディスプレイから 30cm 以上離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。</p>
<p>ソフトウェアによって、ファンクションキーがコントロールパネルの設定と異なる動作をする。</p>	<p>ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制限されることがあります。</p> <p><a href="#">タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う</a> をご覧ください。</p> <p>特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、使用しているソフトウェアに対する設定を更新したかどうか確認して下さい。</p>





## ペンの問題

ペンで画面のポインタの移動ができない、または正しく動かない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない可能性があります。タブレットドライバが読み込まれていないときの動作としては以下のようになります。

- ポインタの移動以外のペン入力できません。
- ペン入力とタッチ入力の両方に対応した機種の場合、基本的なタッチ以外の操作やジェスチャーは認識されません。

このような場合は、[タブレットドライバのアンインストール](#)を行い、コンピュータを再起動後、タブレットドライバを再度インストールしてください。

ペンで筆圧感度を使った線を引く、塗るなどの動作ができない。

ご使用のソフトウェアが筆圧機能に対応しているかどうかを、ソフトウェアの取扱説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を利用可能にするための設定が必要な場合があります。また、お使いのソフトウェアが筆圧に対応していることを確認してください。

クリックが利かない。

「ペン先の感触」を柔らかく設定してください（[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください）。

ペン先でダブルクリックが利かない。

ペンタブレットの操作エリアの同じ場所を2回、速くたたいていることを確認してください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることを推奨しています。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。次に「ダブルクリック距離」を大きくするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定します。

ファンクションキーの1つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。

Windows の場合：1回のクリックでプログラムが起動するように設定します。[クリック](#)をご覧ください。

ペンがあらゆるものを選択する。選択が解除できない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方に動かします。

また、芯の抜き差しも行って下さい。

以上で効果がない場合は、[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。または[テクニカルサポート](#)へご連絡ください。

ペン先（芯）がすり減っている可能性があります。[芯を交換する](#)をご覧ください。

消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。以上で効果がない場合は、[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。





ペンまたはインクのストロークの開始が遅れる。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。動作しない場合、「ダブルクリック距離」のスライダを「off」へ動かして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。

Ink 機能をオフにしてください。

クリック、描画、あるいは文字を書くときに、ペンを強く押さなければならない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。

ペン先が利かない。

互換性のあるワコム製のペン（付属品など）、または Intuos に対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。他のペンは、ペンタブレットで正しく動作しません。

- コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
- タブレット本体に問題がある可能性があります。（[ペンタブレットのテスト](#)および[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください）。

ペンやその他の入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。

使用中の入力デバイスとソフトウェアに対して、設定変更を行ったかを確認してください。[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)をご覧ください。

サイドスイッチが利かない。

互換性のあるワコム製のペン（付属品など）、または Intuos に対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。他のペンは、ペンタブレットで動作しません。

ペンタブレットの操作エリアから 10 mm 以内にペン先があるときに、サイドスイッチを押してください。ペン先でペンタブレットを押さずにこれを行ってください。

コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のソフトウェアと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。

オプション設定の「サイドスイッチエキスパートモード」を確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をペンタブレット表面にタッチする必要があります（[オプション設定](#)をご覧ください）。

画面のポインタが「ジャンプ」して引き戻される。

使用していないときや、他のポインティングデバイスを使用しているときには、ペンタブレットの上に入力デバイスを置かないでください。入力デバイスをペンタブレットの上に置いたままですと、ほかの入力デバイスを使ったときに、画面のポインタの移動ができなくなる場合があります。





ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントソフトで、描いた線とポインタの位置が合わない。

コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペンモード」が選択され、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。効果がない場合は、「標準設定」ボタンをクリックしてください。それでも効果がない場合は、ペンタブレットの設定ファイルを削除してください（詳しくは [Windows の問題](#) または [Mac の問題](#) をご覧ください）。

ペンが機能するかどうかを確認します。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。

マルチディスプレイ環境で、一つのディスプレイでしかペンが機能しない。

[「マッピング画面切り替え」](#) を割り当てたファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、Intuos のペンで操作するディスプレイを切り替えてください。

「マッピング」タブの「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。

マウスモードでペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇄マウスモード…」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切り替えます。





## タッチの問題

タッチができない。

指に反応して画面のポインタが動くことを確認します。次に指で操作エリアにタッチしてステータスランプが点灯することを確認します。点灯しない場合は、ペンタブレット側面のタッチ切替スイッチを反対側に切り替えてからもう一度タッチしてください。

タッチが一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、他の動作やジェスチャーは機能しない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合には、基本的なタッチ操作のみ認識されます。その他のタッチ操作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。

複数の指でタッチした場合に、正しく認識されない。

指同士が近づきすぎている場合、ペンタブレットは別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてください。

Adobe Photoshop 使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

Adobe Photoshop で作業するときに、ジェスチャーのスクロールとパンが正しく動作しない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。

回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。90度単位で滑らかに回転する場合もあれば、全く回転しない場合もあります。これは各ソフトウェアの仕様であり、ペンタブレットの故障によるものではありません。

このジェスチャーを正しく認識させるには、2本の指をペンタブレットの画面に対して対角線方向（斜め）に 25 mm 以上離して置いてください。





## ワイヤレス通信の問題

コンピュータに使用可能な USB ポートがない。

現在使用していない周辺機器があれば、USB ポートから取り外してください。付属の USB 接続ケーブルで、ペンタブレットをコンピュータ本体の USB ポートに接続します。

ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押すと、ランプが約 4 秒間点灯した後に電源が切れる。

ワイヤレス通信が確立していない場合、約 4 秒後にワイヤレスモジュールの電源が切れます。

- ワイヤレスレシーバーがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているかを確認してください。
- ペンタブレットをお使いのコンピュータに近づけ、ペンタブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。

再度電源ボタンを押して、ワイヤレス接続を有効にします。

ワイヤレスモジュールの電源を入れると、ランプは正常に機能していることを示すが、画面のポインタが動かない。

タッチ機能がオフになっていないことを確認してください。

ペンタブレットの使い方が誤っていないか確認してください。[ペンを使う](#)を再度ご覧ください。

ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。

電池残量が少ない場合は[電池の充電](#)を行ってください。

ワイヤレス通信は確立しているがペンタブレットが正しく動作しない。

タブレットドライバが正しくインストールされているか確認してください。

また、[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

USB 接続ケーブルを外すとペンタブレットが動作しなくなる。

ワイヤレスモジュールとレシーバーが正しく取り付けられ、ワイヤレスモジュールの電源が入っていることを確認してください。

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認してください。

- ペンタブレットのワイヤレスキットカバーを開き、充電式リチウムイオン電池およびワイヤレスモジュールが正しく取り付けられているか確認してください。
- 電池に液漏れや破損がないか確認してください。
- 電池を一晩充電してから再度試してください。問題が解消されなければ、電池の寿命、または破損の可能性があります。その場合は、新しい電池を購入してください。電池の購入については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。
- ワイヤレスレシーバーとワイヤレスモジュールが購入時の組み合わせと異なる場合は、ペンタブレットは動作しません。購入時の組み合わせに戻してください。





ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押しても、タブレットのパワーランプが点灯しない。

1. ワイヤレスレシーバーがコンピュータ本体の有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。USB ハブに接続されている場合は、コンピュータ本体の USB ポートに接続してください。
2. ワイヤレスモジュールがペンタブレットに正しく接続されているか確認し、電源ボタンを押してワイヤレス通信を確立してください。
3. 以上を行ってもランプが点灯しない場合は、ペンタブレットとコンピュータを USB 接続ケーブルを接続してください。

ワイヤレスモジュールの充電ステータスランプを確認します。オレンジ色の場合は、電池が充電中です。緑色の場合は、電池がフル充電状態です。点灯しない場合は、電池の寿命、または破損の可能性があるので、新しい電池と交換してください。

4. ペンタブレットとワイヤレスモジュールのランプが両方とも点灯しない場合には、ワコムテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

一部のソフトウェアでポインタまたはペンストロークが遅れたり、ポインタが飛び回ったりする。

[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

コンピュータがスリープモードになると常に充電が停止するように見える。

コンピュータによっては、スリープモードになると充電はされません。充電中にスリープモードに入らないように、お使いのシステムの省電力機能を設定する必要があります。

## WINDOWS の問題

ペンタブレットの設定ファイルが壊れている可能性がある。または、設定ファイルを標準設定の状態に戻したい。

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用して、再設定を行います。開いているソフトウェアをすべて閉じ、Windows の「スタート」ボタンをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ」をクリックし、画面の指示に従って設定します。
- タブレット設定ファイルユーティリティを使用して、以下の手順でペンタブレットの設定を削除します：

シングルユーザの場合：「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックし、現在のユーザ設定を削除します。

マルチユーザの場合：「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」ボタンをクリックし、マルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。

以前の設定ファイルのバックアップがある場合は、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」ボタンをクリックするとペンタブレットの設定を素早く復元できます。





## Mac の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはペンタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

起動時にペンタブレットが検出されませんでした。

ワイヤレス通信を行っている場合：

- [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、ワイヤレス通信が正常に行われていることを確認してください。
- 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択して、「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB ペンタブレットの機種がリストされています。ペンタブレットの機種がリストにない場合、ワイヤレス接続を確認してください。

付属の USB 接続ケーブルで接続されている場合：

- USB 接続ケーブルがコンピュータ本体の有効な USB ポートにしっかり接続され、パワーランプが点灯していることを確認してください。  
問題が解消されない場合は、USB ケーブルをお使いのコンピュータに直接接続してください（USB ハブには接続しない）。
- 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択し「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB ペンタブレットの機種がリストされています。ペンタブレットの機種がリストにない場合、USB タブレットのケーブル接続を確認するかペンタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。

これで解決しない場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。

それでも解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。





ペンタブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

ワコムタブレットユーティリティを使用して、お使いの環境設定を調べます。開いているソフトウェアをすべて閉じ、メインメニューの「アプリケーション」を開きます。続いて「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。ワコムタブレットユーティリティでは、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ」をクリックし、設定指示に従います。
- 次に、下記のとおり、タブレット設定を削除します。
  - シングルユーザの場合 ユーティリティが起動したら、「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべての設定ファイルが作成されます。
  - 複数ユーザの場合 ユーティリティが起動したら、「すべてのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべての設定ファイルが作成されます。

補足：ユーティリティの中の「復元...」をクリックして、バックアップ済みの「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」の設定ファイルを素早く復元することができます。

補足：「WacomTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「PreferencePanels」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルを削除するのは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、ワコムタブレットユーティリティを使用する場合だけです。





## テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合、初めにペンタブレットのクイックスタートガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。次に、このユーザーズガイドの中の[トラブルシューティング](#)をご覧ください。問題の内容が記述され、解決法が示されています。

このユーザーズガイドで解決法が見つからない場合、ユーザサポートページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。http://tablet.wacom/customer-care/

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードすることができます。更新情報については、タブレットドライバのダウンロードページからお確かめください。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

問題が解決せず、ペンタブレットが適切に動作していないと思われる場合、ワコムのサポートセンターに連絡してください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- ペンタブレットのシリアル番号とモデル名。ペンタブレットの裏面をご覧ください。
- ドライバのバージョン。タブレットドライバ CD-ROM に記載のバージョンを確認するか、コントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。
- コンピュータの製造元と型式、および OS のバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したときに使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したときに起こったことにどう対処したか
- どのように問題を解決しようとしたか

FAX にて修理をご依頼になる場合は、[お問い合わせ／修理依頼票](#)をコピーし、必要事項をご記入の上、お問い合わせ／修理依頼票に記載の FAX 番号までお送りください。





## ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用できる場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download/>

**重要：**インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールすると、電子マニュアルがシステムから削除されます。また、すべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります（標準設定で利き手の設定を変更していた場合も、右手用が変わります）。

バージョンアップをするときは、古いドライバに新しいドライバを上書き（更新インストール）することをおすすめします。

また、旧製品のドライバがインストールされている場合は、そのタブレットドライバを削除した後コンピュータを再起動し、新しいドライバをインストールしてください。

## お手入れとメンテナンス

ペンとペンタブレットは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりはペンタブレットやペンに付いて、ペンタブレットの表面を傷付けたり、故障や劣化の原因となります。定期的にお手入れすることで、ペンタブレットやペンを長期間ご利用いただけます。

ペンタブレットとペンは清潔な涼しい場所に保管し、極端な温度変化を避けてください。使用や保管には室温が適しています。

ペンタブレットとペンを分解しないでください。製品を分解すると、保証が無効になります。

**重要：**ペンタブレットやペンに液体がかからないように注意してください。とくにファンクションキー、ペンのサイドスイッチ、およびペン芯を濡らさないように注意してください。壊れやすい電子部品が内蔵されているため、濡れると故障することがあります。

ペン芯は磨耗しますので、適宜交換し、ペンタブレット表面に傷がつかないようにしてください。[芯を交換する](#)をご覧ください。

水または薄い石鹼水で湿らせた柔らかい布で定期的に拭いてください。定期的にお手入れをしていただくことでペンタブレットとペンを長期間ご利用いただけます。それ以外の固形物、液体、溶剤などは、ペンタブレットやペンのお手入れに使わないでください。

ペンタブレットの表面を拭くときは、静電気防止布または軽く湿らせた布をお使いください。力を入れず、表面を濡らさないように拭いてください。薄い石鹼水以外の洗剤、シンナーあるいはベンジンのような揮発性の液体は製品を傷つける可能性がありますので、お手入れには使わないでください。この場合の傷も、保証の対象外となります。



## 付録

ここでは、ペンタブレットのタブレットドライバのアンインストール方法、ペンタブレットで他のソフトウェアや機能を利用する方法を説明します。

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)

[Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能](#)

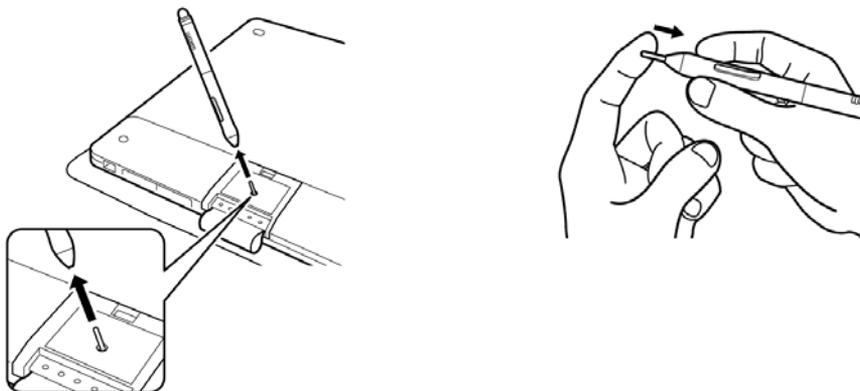
[製品情報](#)

[オプション品の注文](#)

### 芯を交換する

芯（ペン先）は、通常の使用で磨耗します。筆圧をかけすぎると磨耗が早まります。ペンタブレットを保護し、最適な操作性を保つために、定期的にペン先を交換してください。また、ペン先が短く（目安：1 mm 以下）なったり、平らになったり、尖ったりして書きにくくなった際にも交換してください。

すり減ったペン芯は、ペンタブレット背面の芯抜きパッドを使うと簡単に取り外せます。新しいペン芯は、図のようにペンの軸に真っ直ぐに、芯が止まるまで差し込んでください。





## タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従ってタブレットドライバをシステムから削除することができます。

- 重要:**
- タブレットドライバをアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しなくなります。タッチ入力でお使いの場合はマウスとして機能します。
  - インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールしないでください。詳しくは[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

### Windows 8 の場合 :

1. Windows 8 のデスクトップ画面の左下隅で右クリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選びます。または、画面の右端からスワイプして「検索」を選択し、検索ボックスに「コントロールパネル」を入力して、アプリで表示される「コントロールパネル」をクリックしてください。
2. 「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

### Windows 7 および Windows Vista の場合 :

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選びます。
2. 「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

補足：アンインストールを完了させるためにコンピュータの再起動を求められることがあります。

### Mac の場合 :

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。続いて「タブレットドライバ：削除」をクリックし、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. システムを終了し、コンピュータの電源を切ります。
5. ペンタブレットをコンピュータから取り外します。

最新のタブレットドライバのダウンロード（インターネットから入手できる場合）については、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。



## タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ファンクションキーを直接コントロールするように設計されているものがあります。このようなソフトウェアを使用した場合、ファンクションキーがコントロールパネルで設定する機能とは違った動作をすることがあります。

このようなソフトウェアでは、ファンクションキーがコントロールパネルで設定されている機能とは異なる動きをする場合があります。

- ファンクションキーの1つがソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、「アプリケーションの設定に従う」が表示されるか、または新しい機能名が付けられます。ソフトウェアによっては、ファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- ソフトウェアが実行中または画面の最前面にある場合のみ、このソフトウェアはファンクションキーの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了する（または作業するために別のソフトウェアのウィンドウ枠を選択する）と、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、ワコム製品の使用にあたり、この機能を選択しないかまたは無効にできます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアで提供される取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って設定を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。[アプリケーションソフトウェアの設定をカスタマイズする](#)をご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成するための情報については、[アプリケーションソフトウェアの設定をカスタマイズする](#)をご覧ください。

**重要：**特定のソフトウェアに対する設定を、タブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。



## Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能

Microsoft Windows 8、Windows 7 (Starter を除く)、および Windows Vista (Home Basic を除く) は、ペン入力機能に対応しています。Intuos を使用して、素早く直感的な反応をお確かめください。

- **手書きメモ帳機能**：Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書きこむことができます。手書き入力した内容を確認するには、Windows Journal の検索エンジンを使用します。
- **手書き文字認識機能**：ペンタブレットで素早く書いた手書き文字をテキストに変換する機能です。
- **デジタルインク機能**：Office 2007 以降で、ペンタブレットを接続し、ペンを使って手書き文字や図形などを自由に書き込むことができる機能です。デジタルインク機能は、該当する各ソフトウェアの「レビュー」タブにありますので、ご活用ください。

Windows Tablet PC 入力パネルによって、ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。

入力パネルは、以下のいずれかの方法で立ち上げます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右ボタンクリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルを無効にするには：

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」「オプション」の順に選択します。
3. 「開き方」タブを選択して、次のボックスのチェックを外します：
  - 「タブレットペン入力の場合、テキストボックスの横にアイコンを表示する」
  - 「入力パネルタブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。

詳しくは、Windows トレーニングツールおよび Tablet PC チュートリアルを含め、ご使用システムの付属文書を参照してください。「Tablet PC ペントレーニング」を起動するには、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」、「TABLET PC」、「TABLET PC ペントレーニング」の順に選択します。「スタート」メニューからトレーニングツールを起動できない場合は、Windows のヘルプを検索してください。

Windows のデジタルインク入力機能に関する追加情報は、Microsoft のホームページで検索してください。

**補足**：ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows 7 の「ペンとタッチ」コントロールパネル、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。





## 製品情報

Intuos に関する詳細や、Windows で様々なペン機能と [デジタルインク](#) 機能をフルに活用する方法やソフトウェアについては、ワコムのホームページ (<http://wacom.com>) をご覧ください。

ペンタブレットの仕様は、タブレットドライバ CD-ROM の「製品に関する重要なお知らせ」の中に含まれています。

## オプション品の注文

ペンやその他のオプション品を購入するには、ワコムのホームページをご覧ください。

<http://store.wacom.jp/>



## 用語

**クリック圧** クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

**消しゴム対応** 消しゴム機能に対応しているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

**操作エリア** タッチまたは入力デバイスが検出されるペンタブレット上の操作領域および描画領域。[タッチセンサー](#)をご覧ください。

**修飾キー** 修飾キーには、Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Mac では「shift」、「control」、「command」、「option」キーが含まれます。サイドスイッチやファンクションキーを、修飾キーが実行されるようにカスタマイズすることができます。

**芯** ペン先で交換が可能な部分。

**タッチセンサー** タッチ入力を検出するための Intuos の操作領域。タッチセンサーは操作エリア内にあり、ペン入力は検出しません。

**タッチ入力** ペンタブレット上で指先でコンピュータを操作する方法。

**縦横比** ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

**ダブルクリック距離** ペン先でダブルクリックするとき、2 回目のクリックですれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックソフトによっては、線の引き初めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

**ダブルクリック速度** ダブルクリックの 1 回目と 2 回目のクリックの間隔の設定。遅くするとペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

**デジタルインク** コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのまま使用することができます。システムおよびソフトウェアの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換することもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

**特定のソフトウェアに対する設定** ソフトウェアごとに入力デバイスとペンタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)をご覧ください。

**筆圧対応** ペン先およびテールスイッチ（消しゴム）にかかる圧力を感知します。筆圧に対応したソフトウェアで、自然な感じに文字を書いたり、色を塗ったりできます。ブラシの太さなども調節できます。

**筆圧対応ソフト** 筆圧機能に対応するソフトウェア。

**ファンクションキー** ペンタブレットに装備されたカスタマイズ可能なコントロールキー。[ファンクションキーの標準機能](#)をご覧ください。

**ペン入力** ペンタブレット上でペンを使ってコンピュータを操作する方法。

**ペンモード** ペン入力によるポインタの位置決め方法。ペンをペンタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、入力デバイスの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることができます。マウスモードもご覧ください。

**ポインタの加速** マウスモードのとき、ポインタの加速を調整することができます。

**ポインタの速度** マウスモードのとき、ポインタのスピードを調整することができます。

**マッピング** ペンタブレット上の入力デバイスの位置と画面上のポインタの位置との関係。

**マッピング画面切り替え** マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

**読み取り高さ** ペンが検出されるペンタブレットの[操作エリア](#)からの高さ。[サイドスイッチを使う](#)もご覧ください。

**ラジアルメニュー** 円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、デバイスボタンに機能を割り当てる必要があります。

**LED** Light-Emitting Diode (発光ダイオード)。ペンタブレットの表示ランプに使用されます。

**Tablet PC 入力パネル** Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

**Windows Journal** 紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフト。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。



## 索引

I	Intuos について	6	さ	サイドスイッチ	16
M	Mac の問題 (トラブルシューティング)	61	し	作業環境を整える	9
T	Tablet PC 入力パネル	68	し	ジェスチャー	19
U	USB コネクタ	7	し	ジェスチャーガイド	11
	USB 接続ケーブル	9		充電式リチウムイオン電池	
W	Windows の問題 (トラブルシューティング)	60		電池寿命	46
あ	アンインストール (タブレットドライバ)	66		電池を交換する	47
え	エクスプレスビュー	21		取り付け	40
お	お手入れ	64		芯を交換する	65
か	カスタマイズ		す	ステータスランプ	7
	Intuos	22	せ	設定	
	アプリケーションソフトウェア	35		コントロールパネル	23
	消しゴムの感触	24	そ	操作エリア	11
	ダブルクリック距離	24	た	タッチオプション	20
	ペン先の感触	24		タッチ切替スイッチ	7
	ボタン機能	28		タッチ入力	
	ラジアルメニュー	33		操作	19
	カラーペンリング	8		タッチの問題 (トラブルシューティング)	58
き	機能 (ボタン)	28		使ってみよう	18
く	クリック	15		ダブルクリック	15
け	消しゴム			ダブルクリック距離の調整	24
	消しゴムの感触 (カスタマイズ)	24		ダブルクリックの調整	24
	使う	15		タブレットドライバ	
こ	コントロールパネル		て	アンインストール	66
	概要	23		ドライバのダウンロード	64
	使い方	12		テクニカルサポート	63
	開く	22		デジタルインク機能	68
				テスト	
				入力デバイス	52
				ファンクションキー	53
				ペン	53
				ペンタブレット	50
				ワイヤレス通信	48
				電池寿命	46
				電池を交換する	47





と					
	ドライバのダウンロード	64		わ	ワイヤレスキット
	ドラッグ	15			構成
	トラブルシューティング	49			取り付け
	Mac の問題	61			ワイヤレス通信
	Windows の問題	60			最適化
	一般の問題	54			省電力機能
	情報	54			ワイヤレス通信の確立
	タッチの問題	58			ワイヤレス通信の状態
	ペンの問題	55			ワイヤレスモジュール
	ワイヤレス通信の問題	59			ワイヤレスレシーバー
					40, 48
は					
	パワーランプ	7			
ひ					
	筆圧レベル	24			
	筆圧を使って描画する	15			
ふ					
	ファンクションキー				
	位置	7			
	使う	16			
	テスト	53			
	標準機能	17			
へ					
	ペン				
	サイドスイッチ	16			
	芯を交換する	65			
	使う	13			
	テスト	53			
	ペンの問題 (トラブルシューティング)	55			
	持ち方	14			
	ペン先の感触	24			
	ペン先の交換	65			
	ペンホルダー	8			
ほ					
	ポインタの移動	15			
	保管	64			
	ボタン機能	28			
	本書について	5			
ま					
	マッピング				
	タブレット操作エリア	27			
	表示エリア	26			
	マルチディスプレイ	12			
ら					
	ラジアルメニュー	33			





このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5337-6514

修理依頼

受付 No. \_\_\_\_\_

発信 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※ 修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。		
	E-mail :	_____		
TEL ( ) ( ) ( )		FAX ( ) ( ) ( )		

タブレット	型式	CTL-480、CTH-480、CTH-680		シリアル番号	_____	
	タブレットドライバ	バージョン : _____				
	購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日				
使用環境	使用 コンピューター	メーカー :	機種名 :			
		モデム内蔵 Yes ・ No	使用 OS	(バージョン : _____)		
	使用アプリケーション	(バージョン : _____)				
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート	
		他の USB 機器				
		USB ハブ				
		ディスプレイ				
		ビデオカード				
その他						
内容	現象発生日	_____ 年 _____ 月 _____ 日				
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 : _____)				
	_____					

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

